令和３年度

事　業　報　告　書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

社会福祉法人　同胞互助会

目　次

1．法人・法人事務局・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

2．養護老人ホーム偕生園・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

3．特別養護老人ホーム愛全園・・・・・・・・・・・・・・・・ 35

4．愛全園在宅センター 53

（1）昭島市高齢者在宅サービスセンター愛全園・・・・・・・・・・ 55

（2）居宅介護支援センター愛全園・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67

（3）訪問介護　ヘルパーほほえみ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73

（4）昭島市南部地域包括支援センター愛全園・・・・・・・・・・・ 77

（5）昭島市西部地域包括支援センター愛全園・・・・・・・・・・・ 83

5．栄養課・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 89

6．訪問給食 ふれあい食事サービス・・・・・・・・・・・ 97

7．医務課、愛全診療所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 99

令和３年度

事　業　報　告　書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

法人･法人事務局

【　法　人　】

1　法人の運営体制等

（1）理事会・評議員会

1）構成

	令和３年度	
役職名	定員	現員
理事	７名	７名
評議員	８名	８名
監事	２名	２名

2）　理事会開催実績

法人への参集もしくは音声・画像での適時的確な相互意思表明を可能とする Web 会議システムを介しての参加により開催した。

開 催 日　等	主　要　議　案
令和　３年　６月　２日	・令和２年度事業報告及び決算報告、監事監査報告 ・新役員候補者選出 ・評議員会の招集決定 ・愛全園のデジタル環境整備による業務改善計画の内容、環境整備や機器等の購入について ・規程類の変更
令和　３年　６月23日	・新理事長の選出 ・業務執行理事の選任
令和　３年１０月27日	・令和３年度第１次補正予算 ・資格取得に関する研修受講料支援事業実施規程の新設 ・東京都介護員養成研修事業実施について ・規程類の変更
令和　４年　３月30日	・令和３年度第２次補正予算 ・令和４年度事業計画 ・令和４年度当初予算 ・評議員会の決議の省略による実施について ・役員等賠償責任保険契約について ・規程類の変更

３）　評議員会開催実績

法人への参集もしくは音声・画像での適時的確な相互意思表明を可能とする Web 会議システムを介しての参加により開催した。

開 催 日　等	主　要　議　案
令和　３年　６月２３日	・令和３年度事業報告及び決算報告、監事監査報告 ・新役員の選任

（２）法人運営に関わる各種会議

会議・委員会名	開催日	所掌事項等
施設長会議	原則 毎月１回	経営委員会にて検討された議案に関する承認、職員の昇給、昇格、その他重要事項
経営委員会	原則 毎月１回	経営に関する案件、夏期・冬期賞与の支給、人事考課の実施、特別職の委嘱等
運営実績会議	毎月第４金曜日	・各施設からの稼働率実績報告と未達成に関する改善策および取り組み報告 ・営業活動、サービス改善活動、顧客満足度向上活動報告 ・経営委員会の報告
評議員選任・解任委員会	令和３年４月１４日	議題：新評議員の選出

（3）法人共通事項の各種委員会

委員会名	開催日	所　掌　事　項
衛生管理委員会	毎月第３水曜日	職員の健康維持、安全管理に関する計画の策定及び課題解決の協議
防災委員会	毎月第４火曜日	各施設の防災管理に関する重要事項の協議 消防計画に定める事項に関しての確認・協議
ＩＴ委員会	毎月第３木曜日	・法人全事業所の IT 化への取り組み ・求人に関する広報活動の展開、Youtube 動画配信の計画と実施状況報告
職員報委員会	４.６.９.１２月第１金曜日	法人および他職種間の情報を共有するための紙面を作成
サービス向上・リスクマネジメ	毎月第１金曜日	利用者のサービスの質の向上を目的とし、リスクマネジメントに関する取り組みや事例検討等を実

ント委員会		施
相談員事例検討	毎月第３金曜日	相談員を対象とした事例検討等を実施。辞令検討を通して、相談員のケースワーク力の向上法を図ることを目的とする
衛生管理委員会	毎週第３水曜日	・産業医からの最新情報伝達 ・施設長からの情報発信 ・衛生管理者からの情報発信 ・各部署から利用者、職員に関する感染症等の発生状況ならびに衛生環境維持の報告
環境整備委員会	毎週第３水曜日	・ご利用者の居室の整理整頓、衛生環境の報告 ・職場内の清掃、整理整頓、環境美化に関する取り組み報告 ・ATP ふき取り検査システムによる衛生検査結果の報告 ・クリーンスタッフや非常勤職員への教育の徹底
行事小委員会・ボランティア小委員会	必要に応じて ４回	・新しい時代の行事のあり方について ・開催方法の検討 ・ボランティア交流方法 ・ボランティアの教育と育成について
介護技術向上小委員会	年１２回	・５つ星の施設を目指した介護サービス内容の見直し ・法人共通介護マニュアル、サービスマニュアルの作成、ブランディングマニュアルの IT 化 ・介護技術向上のための学習企画 ・各現場のリーダーの連携を強固にすることで、法人内統一ケアを目指していく
給食業者選定委員会	必要に応じて ２回	業者選定に関して、発注・受注システムの簡略化、コストの削減などを実施

※　教育研修室　　毎月第１月曜日開催　法人共通研修の企画、立案及びポイント制導入に関する仕組み作り。研修委員会との連携

２　苦情の受付・対応

第三者委員の苦情対応実績

・利用者などからの苦情の申し出による受付　　１件

内容：職員は丁寧に対応してくれているが、入居者同士コミュニケーションが希

薄だと感じている。利用者が施設内で仲良く交流でき、より楽しく生活が底上げされるように、利用者同士のコミュニケーションの橋渡しをしてもらえるような配慮を職員に期待する。
＊第三者評価委員が申し出の詳細を聴き解決している。併せて新型コロナウィルス感染防止によるマスクの生活が続いており表情が見えにくいため、より丁寧に、表情が伝わる挨拶を意識するよう、職員へ指導した。

３　衛生管理対策

衛生管理者の配置

衛生管理者と産業医が連携を行い、毎月各施設の代表者を介しての衛生管理委員会を行っている。

４　研修実績

月	研修内容	具体的内容・参加人員	講師
毎月	医療研修	参加人数と内容　※参加者縮小開催 ４月：１２名　家庭での食事の見直し ５月：１０名　高齢者摂食障害 ６月：１０名　高齢者摂食障害 ７月：　７名　高齢者の免疫 ８月：１４名　高齢者の免疫 ９月：　９名　高齢者の免疫 10 月：１１名 高齢者の免疫 11 月：６名 高齢者のアレルギー 12 月：12 名 高齢者のアレルギー １月：１０名　高齢者のアレルギー ２月：１０名　高齢者のアレルギー ３月：　６名　高齢者の便秘症 11 時 00 分～12 時 00 分	理事長
４月 ７月 10 月 １月	新入職員研修	参加人数（計 31 名） ・法人理念・高齢者虐待について ・法人の食事について ・法人職員としての期待と感染症 10 時 00 分～１４時３０分	理事長 特養施設長 地域支援課長 栄養課

４月	介護医療研修	参加人数（３名） ・法人診療所と法人の歴史 ・診療所の取り組み ・エンゼルケアの考え方 ・胃瘻への考え方 15 時００分～16 時００分	診療所長
５月	主任・副主任 基礎研修	参加人員（７名） ・法人理念 ・期待と役割、責務 13 時 00 分～16 時 00 分	理事長 特養施設長 管理本部長
６月 11 月	相談員悉皆研修	参加人員（計 25 名）　※オンライン 業務行動プログラミングシートを活用し セルフスーパービジョンを展開 14 時 00 分～16 時 00 分	法人監事
６月 ９月	相談員悉皆研修	参加人員（計２９名） カウンセリングおよび臨床心理について 14 時 00 分～16 時 00 分	特養施設長
６月	新入職介護医療研修	参加者（４名） ・緊急時の対応と理解 ・有事の際の行動について 14 時００分～15 時００分	診療所長
６月	主任専門研修	参加者（11 名） ウェルスダイナミクスプロファイルを活用し自分を理解する 10 時 00 分～12 時 00 分	特養施設長
７月	副主任専門研修	参加人員（10 名） ウェルスダイナミクスプロファイルを活用して自分を理解する。 10 時 00 分～12 時 00 分	特養施設長
９月	衛生研修	参加人員（全職員）※事業所別動画視聴 ・コロナウィルス関連動画視聴 ・マスク、手洗い動画 アンケートと報告をもって実施完了	各事業所
10 月	感染症研修	参加人員（全職員）※事業所別動画視聴 ・基礎知識を身につけ未然＆拡大防止 ・ノロ嘔吐対応 　アンケートと報告をもって実施完了	各事業所

11 月	ウェルスダイナミクス研修 （リーダー層・課長）	参加人数（23 名） ・職員の属性を理解 ・適材適所の見極め ・役職者の質の向上 13 時 00 分～15 時 00 分	特養施設長
12 月	主任・副主任 リスクマネジメント 研修	参加人員（18 名） リスクマネジメントについて 13 時 30分～15 時 00 分	特養施設長
2月	タレントスペクトル 研修（リーダー層）	参加人員（17 名） ・現レベルと潜在的な可能性診断 ・診断結果を理解し目標定めステップ認識 13 時００分～15 時 00 分	特養施設長
2月	研修・研究成果 発表会	参加人員（102 名）※オンライン ・コロナ禍でも他部署と交流を図る ・各事業所の取り組み、成果 ・新入職員紹介　など 19 時 30 分～21 時 30 分	各事業所
3 月	法人安全運転研修	参加人員（106 名）　※オンライン ・道路交通法改定（アルコール検知器） ・自転車について ・アーカイブ視聴により受講可 14 時 00 分～15 時 00 分	安全運転管理者
3 月	介護技術研修	参加人員（介護職員） 法人共通介護マニュアル周知と実践	各事業所
3 月	タレントダイナミクス研修 （相談員）	参加人員（14 名） 相談員職にあたる職員の質の向上を図る 13 時 00 分～15 時 00 分	特養施設長

５　防災訓練

<table>
<tr><th rowspan="2">月</th><th colspan="2">月例防災計画</th><th rowspan="2">特 記 事 項</th></tr>
<tr><th>訓練項目</th><th>概要・備考</th></tr>
<tr><td>４月</td><td>基礎訓練</td><td>施設内の防災機器・設備の取扱い確認</td><td rowspan="12">○大規模災害時の事業継続計画（災害発生時 BCP）の策定を実施し、第一版を発行した。

○感染症のクラスタ発生を想定した事業継続計画（新型コロナウィルス感染症発生時 BCP）の策定を開始

○昨年度に続き、新型コロナウィルスの感染拡大防止のため、炊き出し等の従前行っていた訓練の実施が困難であったことから、防災委員ならびに各部署担当者による机上訓練や通報訓練を中心に実施した。

○新型コロナウィルスを含む感染症の感染者発生を想定し、防災備品とともに衛生防疫備品の確認を実施した。</td></tr>
<tr><td>５月</td><td>夜間想定訓練</td><td>夜間を想定した通報・初期消火（模擬）・防災備品点検
HR リングによる安否確認</td></tr>
<tr><td>６月</td><td>参集訓練</td><td>徒歩又は自転車による参集訓練</td></tr>
<tr><td>７月</td><td>部分訓練</td><td>通報・消火（模擬）・避難訓練その他</td></tr>
<tr><td>８月</td><td>部分訓練</td><td>屋外での放水訓練
（消火栓・水消火器利用）</td></tr>
<tr><td>９月</td><td>総合訓練</td><td>大規模地震を想定し、各事業所で初期動作、安否確認、エレベーター確認・建物・火災確認のうえ、防災対策本部への状況報告を実施</td></tr>
<tr><td>10月</td><td>総合訓練</td><td>大規模地震を想定し、各事業所で初期動作、安否確認、エレベーター確認・建物・火災確認のうえ、防災対策本部への状況報告を実施</td></tr>
<tr><td>11月</td><td>部分訓練</td><td>警備員による夜間を想定した初期消火、通報、避難訓練防災備品、衛生防疫備品の確認</td></tr>
<tr><td>12月</td><td>夜間想定訓練</td><td>HR リングによる安否確認</td></tr>
<tr><td>１月</td><td>机上訓練・点検</td><td>消防設備・防災備品の確認および事業・予算計画作成</td></tr>
</table>

２月	合同訓練	昼間帯に行い警備員も参加しての火災想定の通報訓練、初期消火、各施設応援、通報、避難誘導	
３月	部分訓練	通報・消火（模擬）・避難訓練その他	

６　地域交流等

（１）地域交流・活動事業

行事名	実施時期	内　　容
納涼祭	中止 （通常８月）	都内の新型コロナウィルス感染状況を鑑み余儀なく中止。
愛全園福祉 フェスティバル	中止 （通常 11 月）	同上
フリーマーケット	中止 （通常５月）	同上
ボランティア交流会	中止 （通常６月）	同上

令和３年度地域　栄養・食支援　活動報告

	実施月日	活動場所・依頼先	内容	講師・担当者
講座講演他	R3･4～ R4・3	デーサービス会議室 又は zoom 会議（１２回）	居宅栄養会議にて症例検討 ・理事長漢方講座等勉強会	理事長、 管理栄養士
	R3･6･16	昭島 NST 講座オンラインで配信	地域 NST、歯科と漢方について 食事、食べられる口、歯と衛生	歯科医、理事長 管理栄養士 園の協力

	R3･7･15	あきる野市食クラブ 健康づくり市民推進活動	在宅支援に関わっている多職種との話し合い（地域訪問栄養関連）	管理栄養士 （佐藤、川戸、矢高）
	R3･6･12	恩陽看護専門学校	脱水と食事	管理栄養士市原
	R3･7･28 R3･9･1 R3･9･15 R3･10・15	立川羽衣地域包括Ｓ Zoom 講座、検討会 タウンミーティング （褥瘡・大浦先生の研究会） 昭島 NST 講座オンラインで配信 昭島市役所市民ホール	在宅支援の多職種に、地域での食事の現状と何が求められているか 特養での栄養管理の取り組み始まった栄養食・支援 地域 NST、コロナ禍で通所施設 リハビリと看護、食事について コロナ禍での生活食事について、免疫力上げる生活と食事の講座、作り易い料理例	至誠ホームケアマネ 管理栄養士川戸 栄養科管理栄養士、中野 管理栄養士佐藤 リハビリ、 看護師 管理栄養士 園の協力 理事長、 管理栄養士 川戸、矢高
	R3・10・21 R3・10・27 R3･11・7 R3･11・11 R3･11・21	愛全園中庭サロン （南部包括サロン） 森の上サロン （西部包括サロン） 西部ハイツ中庭サロン （北部包括サロン） 愛全園中庭サロン （南部包括サロン） システム学会講座	運動講座リハビリ、何故運動が必要か？（筋力 UP の W たんぱく質） 簡単な運動講座と歌を歌う健康な食事の講座 認知症と食事について 運動講座リハビリ、 長生きするなら元気に、食事の話 臨床栄養士認定講座	南部包括リハ 松下、星さん 管理栄養士川戸 西部包括森の上サロンの荒生さん、 管理栄養士川戸 管理栄養士川戸 南部包括リハ松下、星さん 管理栄養士佐藤 管理栄養士佐藤
	R3･12・5 R3･12・5	東京家政学院大学 昭島 NST 講座オンラインで配信	（在宅栄養訪問の基礎と実際・症例） 地域 NST、漢方薬について 漢方薬を学ぼう	管理栄養士影山 蓮村理事長 園の協力
	R3･12・24	生き生きわいわいサロン	コロナ禍で元気で居られますか？	管理栄養士（川戸他）

		大神自治会館	認知症予防体操、認知症予防の食事（お土産のお弁当）	メンバー５人参加 運動社会福祉協議会３人
	R4･2・15	茨城県古河市公会堂	中高年の食育講座 （食べるタイミングが大切）	管理栄養士　市原
	R4･2・22	茨城県古河市公会堂	中高年の食育講座 （高齢者の食事で大切なこと）	管理栄養士　市原
蔓延防止にて中止	来年度に延期 （R3･10・15）	昭島市役所市民ホール	高齢者の歯の話、長生きすなら元気に生きよう、食事について、蛋白質を取ろう、腎臓病の食事	生駒歯科医 管理栄養士 佐藤、小倉
	R4･3・16	昭島 NST 講座オンラインで配信	地域 NST、薬について 色々あります薬の形	薬剤師 すみれ薬局 園の協力

（2）　喫茶・パンの販売

毎週火曜日　11時～15時

社会福祉法人「ゆいのもり福祉協会」利用者によるパンの販売及び喫茶

（3）　ボランティア活動

令和３年度も施設屋内でのボランティア活動を再開することができなかったが、施設屋外での花活動を通常通りの活動に戻し、オンラインでの活動は、昨年度から実施している傾聴に加え、朗読会、俳句会を開始した。縫い物ボランティアも自宅に持ち帰っていただく形で再開し、年間で延べ263 人の活動がおこなわれた。

また、ボランティア全員にアンケートを実施し、その返答内容を特集したボランティア通信２号を６月に発行。11 月には更にアンケートを実施して、法人からボランティアに提供できる情報を精査し、YouTube 動画を作成・公開すると共にボランティア通信３号で紹介していく。

地域連携と人材育成での体験受け入れ校（人数）実績は以下のとおり

受入れ区分	令和３年度	前年(令和２年)実績
幼稚園	なし	なし
小学校	なし	なし
中学校	なし	なし
高等学校	なし	なし
大学	４名	なし
専門学校	なし	なし
社会人研修	なし	なし

７　寄付金について

令和３年度も多くの皆様よりご寄付を頂戴し、施設整備・行事費用に使用した。

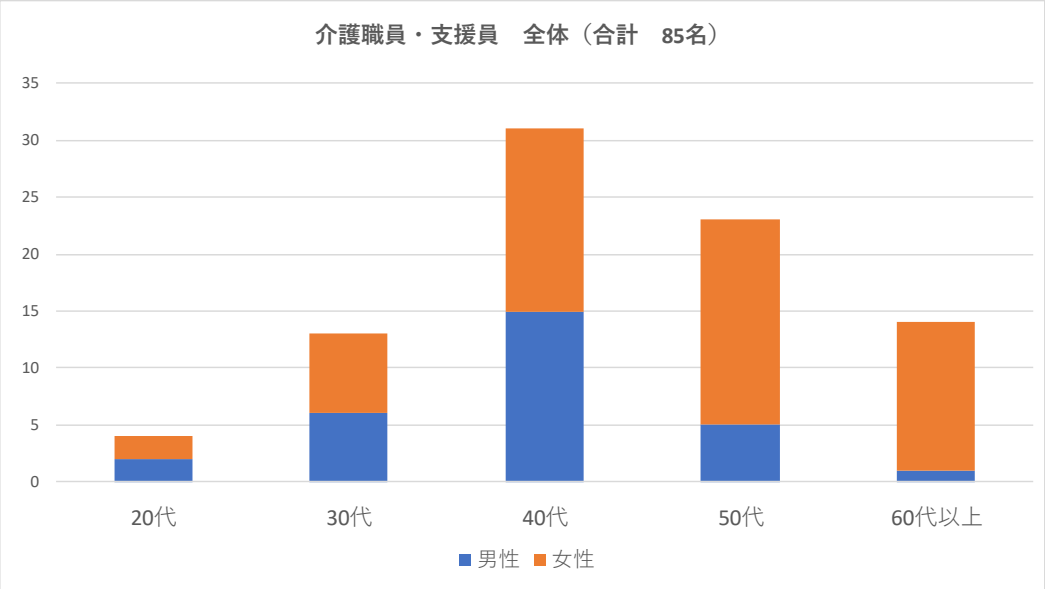
	使用金額	内寄付金充当額	使用用途
本　　部	10,000,000 円	10,000,000 円	コホート室整備資金積立
偕 生 園	０円	０円	
愛 全 園	258,335 円	200,000 円	バスタオル・熱中症指数計・車椅子クッション防水カバー・ブックトラック
センター	０円	０円	
診 療 所	０円	０円	
合　　計	10,258,335 円	10,200,000 円	

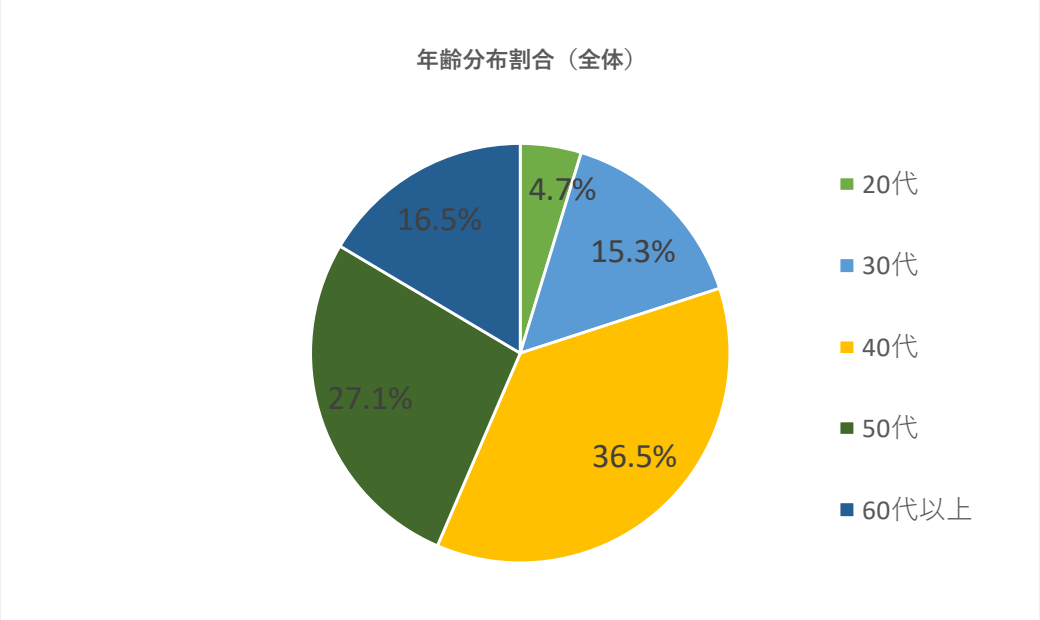
８　介護職員・支援員　人員分布について

令和 4 年 3 月 31 日現在の当法人介護職員・支援員の年齢分布は次頁の通りとなった。

介護職員・支援員　全体

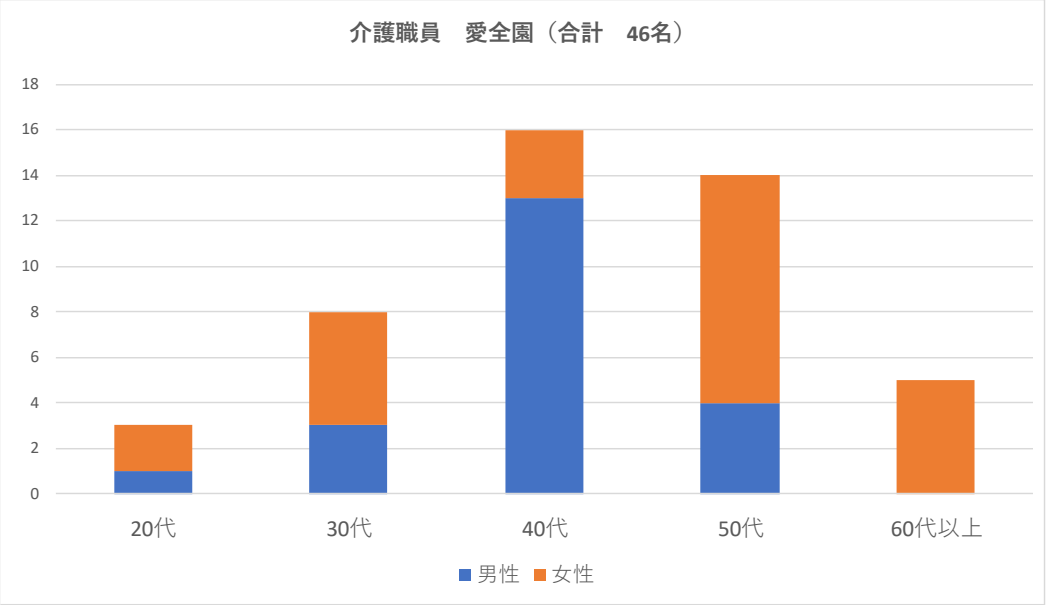
年代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
常勤（男性）	2	6	14	5	0	**27**
常勤（女性）	2	5	9	12	1	**29**
非常勤（男性）	0	0	1	0	1	**2**
非常勤（女性）	0	2	7	6	12	**27**
合計	**4**	**13**	**31**	**23**	**14**	**85**
男性	2	6	15	5	1	**29**
女性	2	7	16	18	13	**56**
全体の割合（男女合わせて）	**4.7%**	**15.3%**	**36.5%**	**27.1%**	**16.5%**	**100.0%**

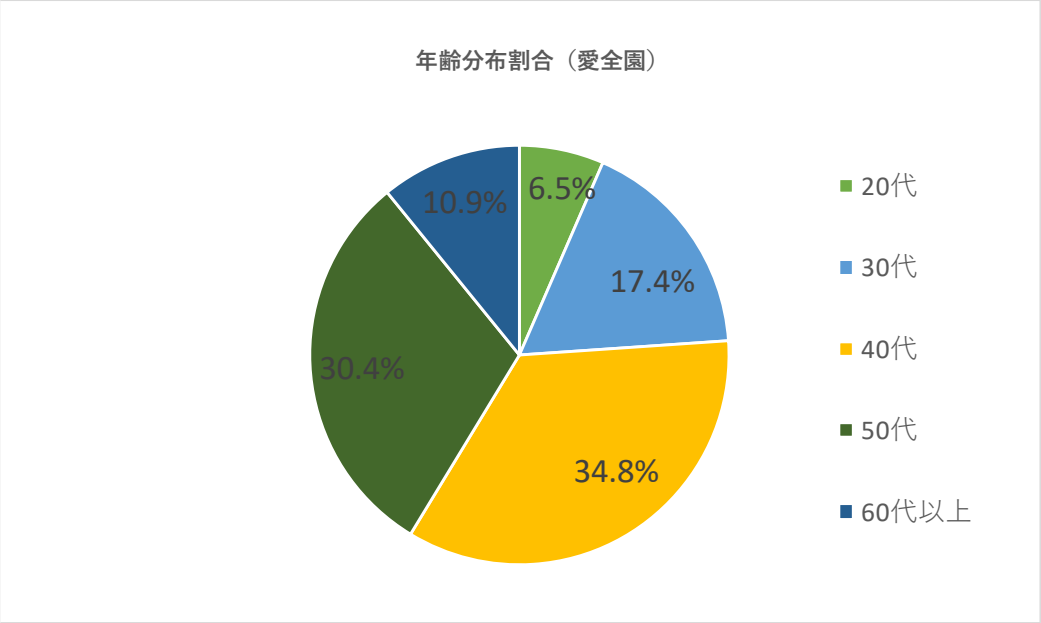




愛全園　介護職員

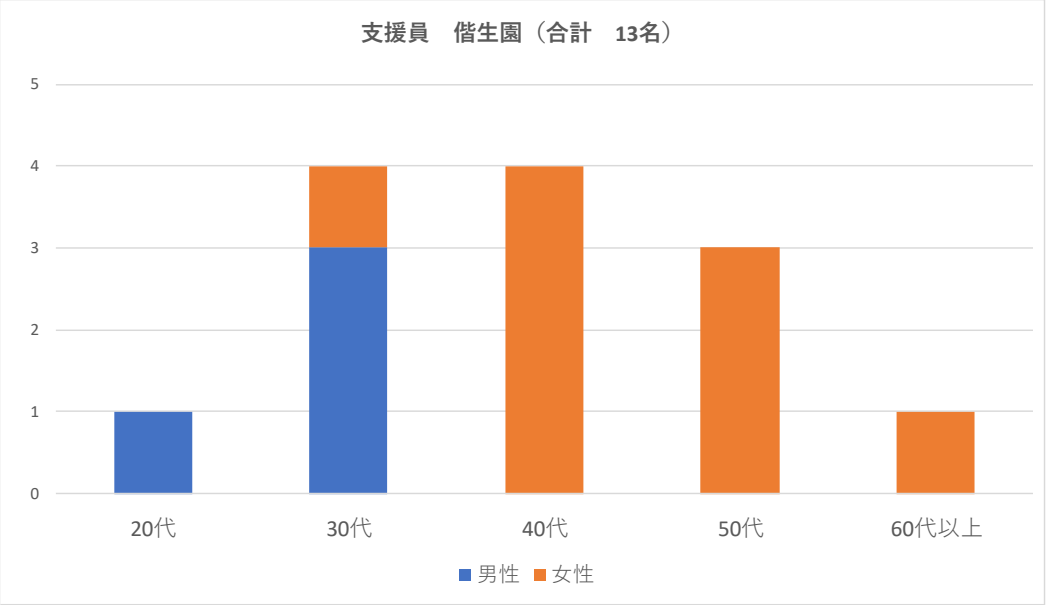
年代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
常勤（男性）	1	3	13	4	0	**21**
常勤（女性）	2	4	2	9	1	**18**
非常勤（男性）	0	0	0	0	0	**0**
非常勤（女性）	0	1	1	1	4	**7**
合計	**3**	**8**	**16**	**14**	**5**	**46**
男性	1	3	13	4	0	**21**
女性	2	5	3	10	5	**25**
全体の割合（男女合わせて）	**6.5%**	**17.4%**	**34.8%**	**30.4%**	**10.9%**	**100.0%**

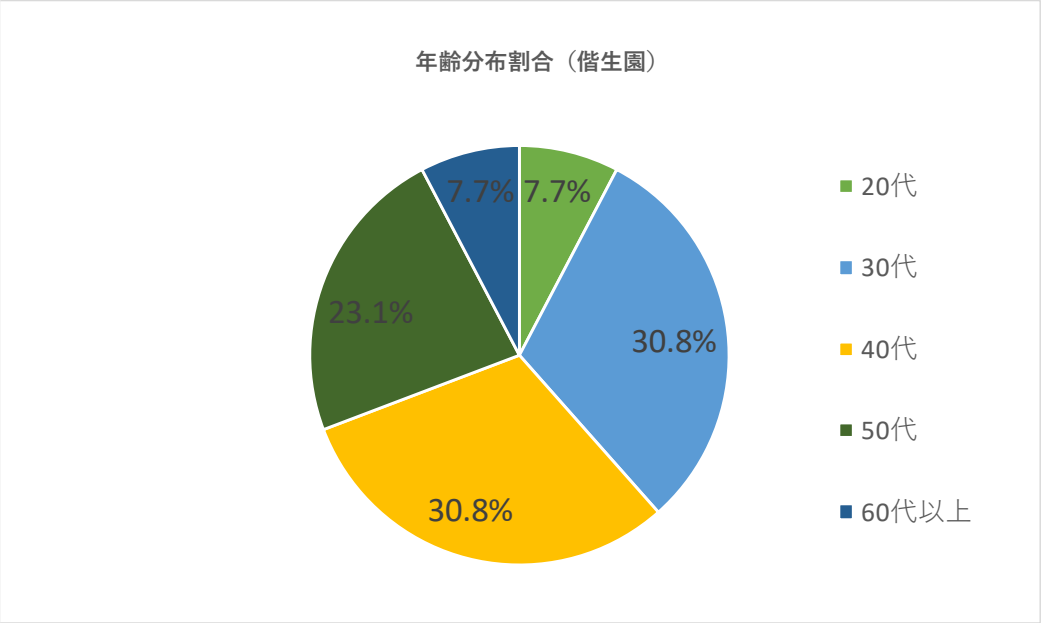




偕生園　支援員

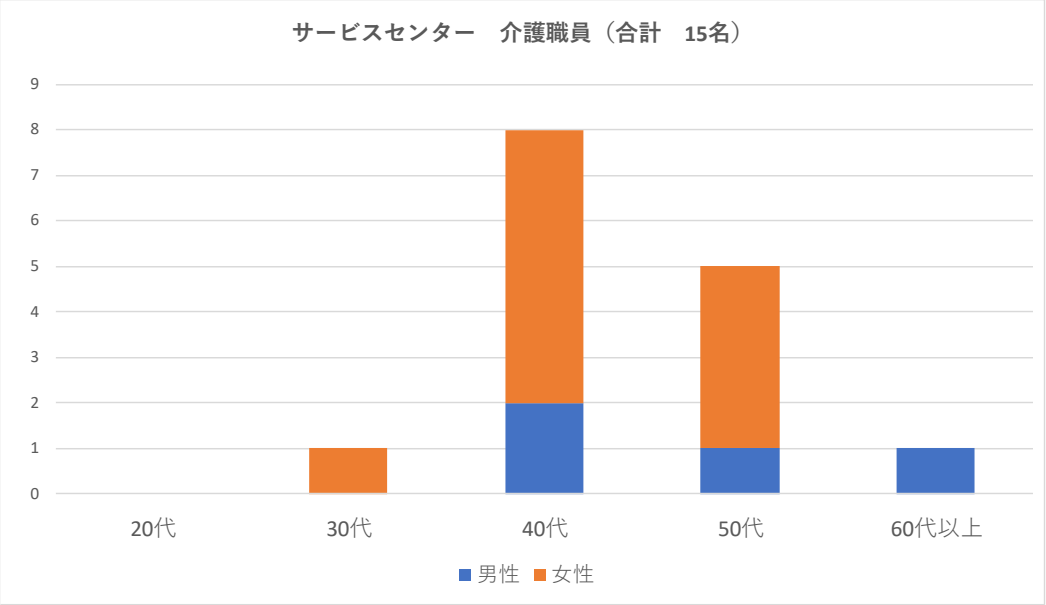
年代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
常勤（男性）	1	3	0	0	0	**4**
常勤（女性）	0	1	4	2	0	**7**
非常勤（男性）	0	0	0	0	0	**0**
非常勤（女性）	0	0	0	1	1	**2**
合計	**1**	**4**	**4**	**3**	**1**	**13**
男性	1	3	0	0	0	**4**
女性	0	1	4	3	1	**9**
全体の割合（男女合わせて）	**7.7%**	**30.8%**	**30.8%**	**23.1%**	**7.7%**	**100.0%**

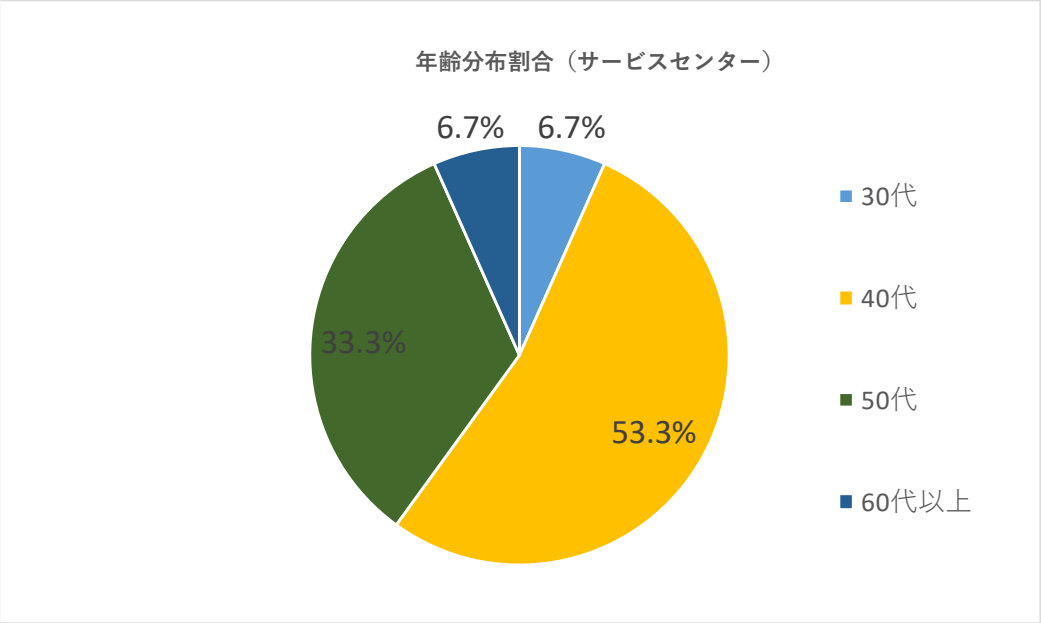




センター　介護職員

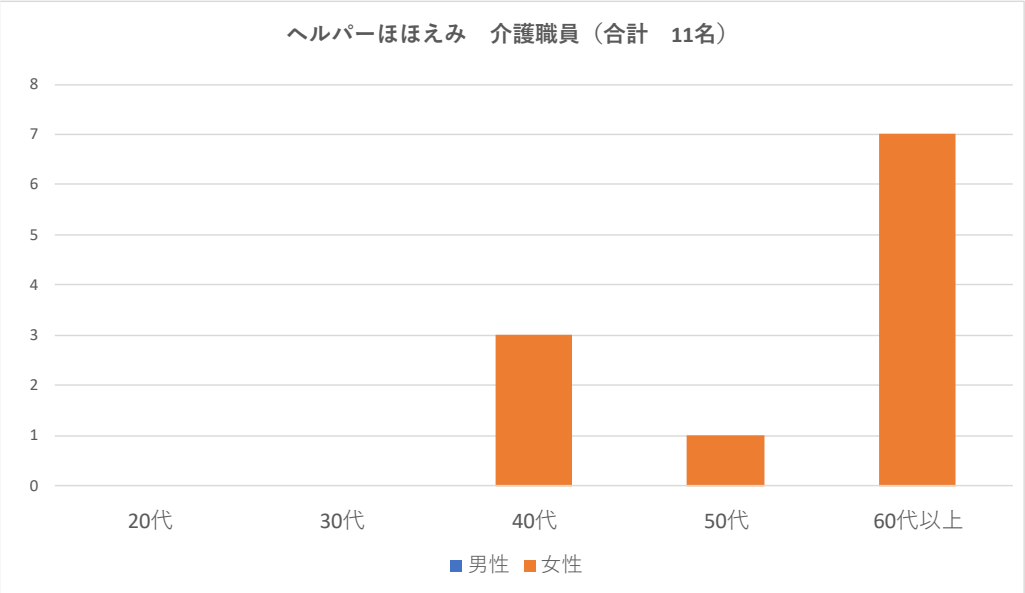
年代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
常勤（男性）	0	0	1	1	0	**2**
常勤（女性）	0	0	2	1	0	**3**
非常勤（男性）	0	0	1	0	1	**2**
非常勤（女性）	0	1	4	3	0	**8**
合計	**0**	**1**	**8**	**5**	**1**	**15**
男性	0	0	2	1	1	**4**
女性	0	1	6	4	0	**11**
全体の割合（男女合わせて）	**0.0%**	**6.7%**	**53.3%**	**33.3%**	**6.7%**	**100.0%**

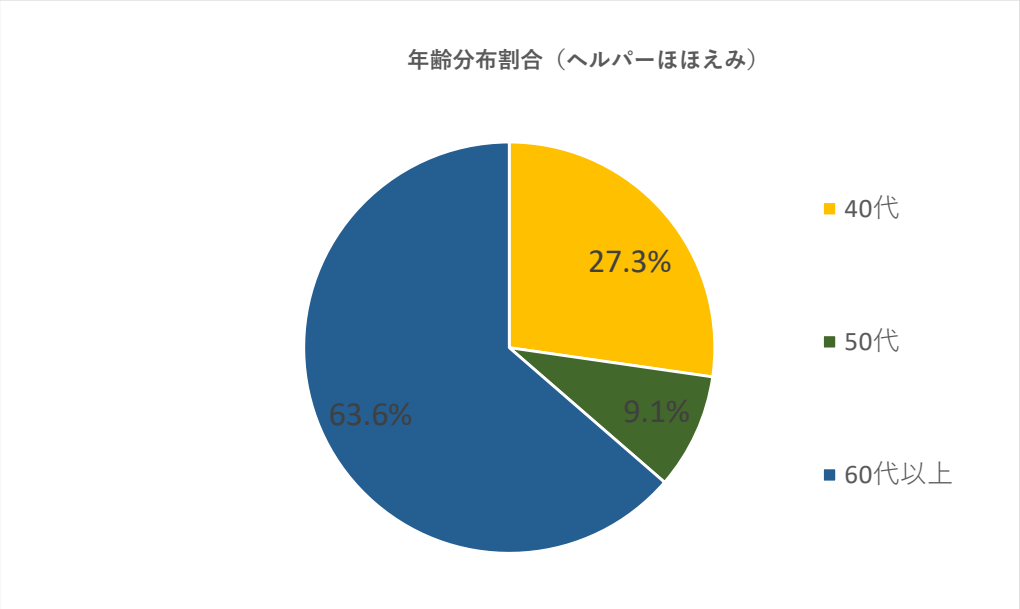




ほほえみ　介護職員

	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
常勤（男性）	0	0	0	0	0	**0**
常勤（女性）	0	0	1	0	0	**1**
非常勤（男性）	0	0	0	0	0	**0**
非常勤（女性）	0	0	2	1	7	**10**
合計	**0**	**0**	**3**	**1**	**7**	**11**
男性	0	0	0	0	0	**0**
女性	0	0	3	1	7	**11**
全体の割合（男女合わせて）	**0.0%**	**0.0%**	**27.3%**	**9.1%**	**63.6%**	**100.0%**





令和３年度

事　業　報　告　書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

養護老人ホーム偕生園

1. 偕生園の概要

（1） 利用者の概要

①各月１日現在の利用者数（3 年比較）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	平均稼働率
R1 年度	140	140	140	140	138	140	139	140	138	140	140	139	1674	99.6
R2 年度	138	139	138	137	138	139	140	137	134	134	133	130	1637	97.4
R3 年度	131	132	136	141	141	141	142	142	142	140	141	140	1669	99.3

②入退所状況（3 年比較）

入所	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
R1 年度	2	1	0	1	3	0	1	2	3	1	0	2	16
R2 年度	2	1	0	2	1	1	1	0	1	1	1	3	14
R3 年度	2	4	6	0	4	1	3	2	3	4	1	2	32
退所	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
R1 年度	2	1	0	3	1	1	0	4	1	1	1	4	19
R2 年度	1	1	2	0	0	1	3	3	1	2	4	2	20
R3 年度	1	1	0	1	3	1	3	0	6	3	3	1	23

③入退所理由（3 年比較）

入所前の場所	在宅	施設	病院	特養老健	有料	シェルタ	計	退所理由	死亡	長期入院	特養老健有料	措置替え	在宅復帰	計
R1 年度	６	３	２	２	０	３	16	R1 年度	８	２	７	２	０	19
R2 年度	５	３	３	２	０	１	14	R2 年度	13	４	２	１	０	20
R3 年度	14	9	4	1	2	2	32	R3 年度	15	3	0	1	4	23

※ 高齢独居を理由にアパートの契約更新を断られるケースや、施設・病院からの家族受入れ拒否、虐待ケースが目立つ。背景として認知症、精神障害、軽度知的障害を抱えられている方が多い。

※ 退所の理由としては、死亡の方が 15 名（9 名は園内で看取り）。長期入院は 3 名いずれも療養型。他養護への措置替え 1 名、在宅復帰が４名（都営住宅当選・賃貸等）。

④入所期間

平均入所期間 7.1 年（男性平均 7.4 年、女性平均 6.8 年）

	１年未満	１～４	５～９	10～14	15～19	20～	計
男性	15	12	18	12	4	0	61
女性	15	23	18	15	6	2	79
計	30	35	36	27	10	2	140

令和 4 年 3 月 31 日現在

⑤措置機関の状況（３年比較）

23 区	足立	荒川	板橋	大田	葛飾	北	江東	品川	渋谷	新宿	杉並	墨田	世田谷	台東	千代田	豊島	中野	練馬	文京	港	目黒
R1 年度	3	1	1	8	10	7	1	1	4	25	7	2	2	7	5	13	3	1	2	2	14
R2 年度	2	1	1	8	11	5	1	3	4	26	7	2	1	6	4	10	5	1	2	2	12
R3 年度	1	1	1	7	14	4	1	3	4	22	6	2	1	7	5	11	10	2	0	3	13

市町村	昭島	小平	立川	調布	西東京	東大和	三鷹	小笠原	三宅村	武蔵村山
R1 年度	3	2	5	1	1	2	1	1	1	0
R2 年度	3	1	5	1	1	2	1	1	1	1
R3 年度	2	1	5	0	1	2	1	1	2	2

※　全体では、都内 21 区８市２村から措置を受けている。
R３年度の入所は、中野５、葛飾４、昭島３、豊島・杉並・三宅２、江東・品川・新宿・台東・千代田・練馬・港・目黒・武蔵村山 1 であった。

※　12 月以降にご逝去が 10 名あった。

⑥利用者年齢構成

最年少 66 歳 6 か月、　最高齢 101 歳 2 か月

	65 歳～	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
男性	5	9	15	19	11	1	1	0	61
女性	2	8	19	15	21	9	4	1	79
計	7	17	34	34	32	10	5	1	140

令和 4 年 3 月 31 日現在

⑦平均年齢　（３年比較）

	男性	女性	全体
R1 年度	80.4 歳	82.2 歳	81.4 歳
R2 年度	79.7 歳	82.9 歳	81.5 歳
R3 年度	79.4 歳	82.8 歳	81.3 歳

⑧入退院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院者(延人数)	4	5	6	6	4	7	7	6	6	5	7	5	68
退院者(延人数)	0	0	2	4	1	1	3	1	3	1	3	0	19

入院期間	1～30	31～60	61～90	90以上	計
(1) 入院者実数	6	5	0	10	21
(2) (1)のうち死亡、または除籍者数	0	0	0	4（死） 2（徐）	6

※入院者数は昨年度102名から68名に減少。入院3カ月以内の死亡は0名であった。

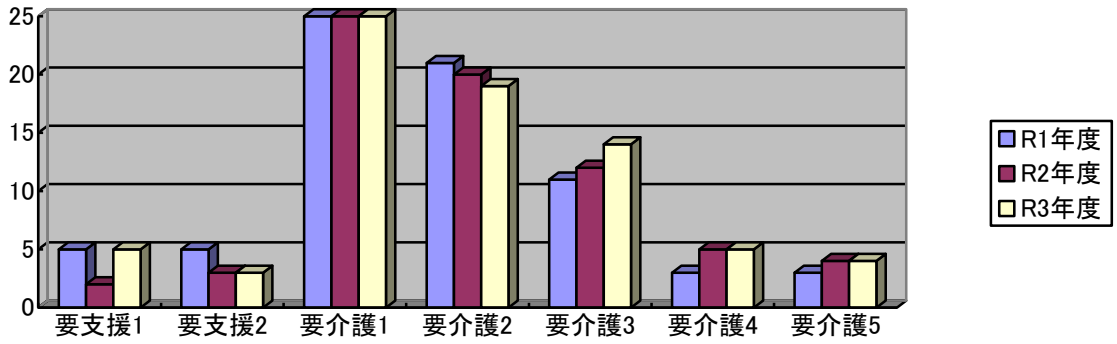
⑨介護保険認定者

	要支援１	要支援２	介護度１	介護度２	介護度３	介護度４	介護度５	計
男性	1	1	6	5	7	1	2	23
女性	1	2	19	15	5	4	2	48

※昨年以降　要介護・要支援認定がついている方の割合が全体の5割を上回っている。

≪介護度の付く方、3年間の推移≫

	要支援１	要支援２	介護度１	介護度２	介護度３	介護度４	介護度５	計
R1年度	5	5	25	21	11	3	3	73
R2年度	2	3	25	20	12	5	4	71
R3年度	5	3	25	19	14	5	4	75



※　介護度割合に大きな変化は無いが、介護保険認定者数は毎年増加傾向にある。

⑩ 利用している介護保険サービス内容　（令和４年３月期 利用人数）

外部サービス	訪問介護	福祉用具貸与	訪問リハビリ	通所介護	訪問薬剤指導	訪問入浴
利用人数（複数含）	52	45	19	56	0	2
事業所数	4	6	3	11	0	1

※通所介護の利用が増加している（前年 42 名）。

介助種類	食事	排泄	着替え	爪切り	入浴	寝返り	移動
一部介助	50	30	24	10	52	0	6
全介助	6	8	8	53	13	5	12

車椅子使用者	認知症高齢者	紙パン・パット等　使用	除圧マット使用
19	69	45	67

⑪面会・外泊状況

≪面会月別状況≫（３年比較）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
R1 年度	26	21	46	33	53	54	59	45	45	34	24	5	445
R2 年度	0	0	0	3	7	14	10	9	10	6	2	3	64
R3 年度	5	7	1	1	2	5	13	9	5	5	1	2	56

※コロナウィルス感染予防のため陰圧室での面会としている

≪面会者の続柄の内訳≫　（３年比較）

	配偶者	子ども	兄弟姉妹	甥姪孫	友人・知人	保佐人他	合計
R1 年度	0	254	51	38	80	22	445
R2 年度	0	33	3	12	0	16	64
R3 年度	0	21	2	5	0	28	56

※コロナウィルス感染予防のためご家族以外の面会を制限している。

≪利用者別面会頻度≫（3 年比較）

回数	1 回	2-4 回	5-9 回	10-19 回	20－50 回	50-100 回	合計
R1 年度	31 人	15 人	10 人	7 人	1 人	2 人	66 人
R2 年度	7 人	8 人	3 人	0 人	0 人	0 人	18 人
R3 年度	22 人	6 人	1 人	1 人	0 人	0 人	30 人

≪外泊状況≫

外泊日数	1 泊 2 日	2 泊 3 日	3 泊 4 日	4 泊 5 日	合計
人数	0	0	1	0	1

※コロナウィルス感染予防のため外泊を原則禁止している。

(2) 健康管理

実施月	内　　容
4 月	入院が、コロナ対応に伴い、難しくなっていることを説明。コロナ以外の病気にも気を付けるように周知。外出時の転倒不安の軽減のために、移動スーパーを誘致、今月より利用開始と説明する。
5 月	緊急事態宣言の発令があり、外出制限を強化したことを再度周知、協力依頼とお礼を伝える。
6 月	新型コロナワクチン（1 回目、2 回目）の説明と実施方法について説明、強制ではないが、感染症予防のために多くの方に実施をして頂きたいことをお伝えする。実施日：1 回目 6 月 9 日、2 回目 6 月 30 日
7 月	コロナ感染症だけでなく、熱中症、脱水についても各自気を付けて頂けるよう周知。無理はしない、異変があったら職員を呼ぶ等の注意喚起を実施。毎日熱中症注意情報の掲出を開始。
8 月	引き継き、コロナ感染症だけでなく、熱中症と脱水に注意して頂くよう説明。コロナ感染症予防接種を打ってない方で希望者には、外部で追加接種をできることも説明。
9 月	熱中症の注意喚起、コロナ感染症が終息が見通せないことを説明、外出制限の緩和はしても、感染症の予防は継続を周知する。
10 月	インフルエンザ予防接種の実施（実施日 10 月 19 日、26 日）
11 月	コロナ感染症予防のために、今回も衣類販売は、イトーヨーカドー貸し切りツアー、もしくは園内での販売に分散して参加して頂ける様説明。
12 月	3 度の緊急事態宣言があった今年度をふりかえり、ウイズコロナの時代であることを再度説明。感染症対策と日々の活動の両立を説明。
1 月	新型コロナワクチン接種 3 回目の予定を説明。感染者数の増加について懸念していることを周知。再度外出制限の強化をすることを説明。
2 月	2 月 2 日に偕生園で 3 回目のコロナ感染症予防接種の実施を説明。また、感染者数の増加につき、不要不急の外出は控えるよう説明。
3 月	当園で初めて利用者にコロナ感染症陽性の方が出たことを説明し、より一層の感染症予防を依頼。

≪訪問歯科医による歯の健康診断≫（実人数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
R3 年度	0	0	9	9	9	3	9	6	14	5	3	6	73

≪訪問歯科医による歯の訪問診療≫（延人数）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
R3 年度	17	19	22	35	14	21	29	25	18	18	17	21	256

（３）相談員による生活相談

＜相談面接件数＞（令和４年３月期　面接人数）

内容	利用者間トラブル	金銭	医療・健康	家族関連	後見人関係	飲酒	タバコ	無断外出泊	その他	合計
件数	27	75	123	99	148	9	17	2	50	550

≪AA（アルコホーリスク・アノニマス）の開催≫

※コロナウィルス感染予防のため中止している。

＜交通安全教室の開催＞

昭島警察署の協力を得て、３月に１回開催した。参加人数 80 名

（４）介護予防支援状況（生きがい活動）

①クラブ・同好会

クラブ名	活動内容	講師ボランティア	参加延べ人数	開催回数
カラオケ	感染予防のため、参加者数を 10 名以下とし毎週金曜日の開催が出来た。換気・マスク・マイクの消毒を徹底して開催した。	なし	478 (159)	34 (14)
遊ぼう会	感染予防のため、参加者数を 10 名以下とし毎週月曜日の開催が出来た。換気・マスク・消毒を徹底して開催した。	なし	364 (127)	37 (12)
ものづくり	手芸クラブをものづくりクラブへ変更し、月１回の開催が定着した。	なし	31 (0)	9 (0)
ゲートボール	昨年は開催出来なかったが、新たにメンバーを募り開催することが出来た。	なし	59 (0)	5 (0)
園芸	昨年は開催出来なかったが、料理クラブへ収穫した野菜を提供することが出来た。		155 (0)	15 (0)
料理	感染予防のため、参加者数を 10 名以下とし、換気・マスク・手袋、調理道具の消毒を徹底して開催した。		109 (67)	8 (6)
折紙	俳句クラブを折紙クラブへ変更し、毎月開催することが出来た。	なし	98 (4)	15 (1)
テーブルゲーム	書道クラブをテーブルゲームクラブへ変更し、後期から開催することが出来た。」	なし	52 (0)	8 (0)
なでしこ	銅板クラブを女美容をテーマとするなでしこクラブに変更し、開催することが出来た。	なし	10 (0)	1 (0)
奉仕	キレイあきしまを奉仕クラブへ変更し、園内外清掃を毎日、芝生広場の芝刈りを定期的に実施出来た。		2123 (2)	333 (1)

紙細工	感染予防のため、参加者数を 10 名以下とし毎月開催が出来た。	なし	60 (6)	10 (1)
お花の会	華道クラブをお花の会に変更し、毎月開催出来た。	なし	225 (0)	11 (0)
かすみ草	刺し子・手作りクラブをかすみ草に変更し、季節の行事の飾りを作成することが出来た。		13 (5)	2 (2)
ボランティア床屋	毎月、聚楽会役員が主体となって、会場設営、人数調整、呼出し等を行っている。	DIC	24 (16)	11 (8)
歩こう会	感染予防の上、食堂にて椅子に座っての介護予防体操と廊下をウォーキングし筋力低下予防に取り組んでいる。		2224 (1960)	108 (126)
フィットネス	動こう会をフィットネスクラブに変更し、月 2 回開催が定着した。		133 (990)	15 (48)

※新型コロナウィルス感染予防のため外部講師のクラブ活動を見直し、スタッフ進行のクラブ活動へ移行した。

※（　）は令和２年度

同好会名	活動内容	講師・ボラ	参加延べ人数	開催回数
映画	食堂にて感染予防の上、スピーカーにプロジェクターを接続しスクリーンに映写して映画館の雰囲気を楽しんで頂いた。		866 (1641)	28 (107)
健康麻雀	換気・マスク・消毒の上、頭の体操や健康を目的に麻雀を楽しんでいる。		105 (98)	34 (34)
囲碁	囲碁を趣味とする方をお誘いし、毎週開催することが出来た。		40	7
買い物	週 2 回の移動スーパーを利用して、単独で買い物に行けないご利用者の楽しみの機会を作ることが出来た。		1519	81

※常にどなたでも気軽に参加出来る同好会を新設することが出来た。

※（　）は令和２年度

≪個人別　参加回数≫　　（令和 3 年度 延べ利用人数）

	0	1～10	11～40	41～70	71～100	100～	計
男性	3（21）	27（13）	25（10）	7（7）	5（3）	5（3）	72
女性	2（13）	13（15）	27（26）	22（9）	9（8）	18（13）	91

※９７%の方が参加され、４０%の方は毎週クラブ又は同好会にご参加いただけた。

※（　）は令和２年度

②季節行事

開催日	行事名	行事内容	参加延べ人数
4月5日	観桜会・ 青空食事会	前日に雨が降り裏庭の地面がぬかるんでいた為、今年度は食堂での開催とした。お昼、桜の内装を見ながら特別メニューを食べ、お花見気分を楽しまれた。	119名
4月～5月	端午の節句	ご利用者主体で中庭に鯉のぼりを飾り、食堂内にカブト、食堂前に五月人形を飾り、菖蒲湯を楽しんだ。今年は食堂にも小さな鯉のぼりを沢山飾った。	
5月26日	お茶会 （外出支援）	緊急事態宣言中につき昭島記念公園への外出が中止となった為、中庭へ外出する会を行う。青空のもと、皆さんお茶菓子とお茶を楽しまれていた。	36名
6月3日 ～ 7月8日	七夕飾り	利用者がご高齢の方が多い事を考慮し、飾り付けの竹はプラスチック製の組立式のものを用意した。来年度以降も竹はプラスチック製のものを使用する事となった。日々作成した折り紙や短冊を飾った七夕の笹を食堂前、法人玄関に設置した。	飾り作り 53名
7月13日 7月16日	盆迎え火 送り火	偕生園に在籍した物故者に対し、御霊をお迎え、お送りするひと時を過した。	迎え火14名 送り火15名
8月26日 10月21日 11月26日 11月29日 2月15日 2月18日	お楽しみ 出前の会	園内で開催出来る催しとして、出前を注文し利用者に召し上がっていただく。8月マクドナルド、10月・11月・2月はスシローとくら寿司で注文した。寿司の会では希望者が多数いた為、10月・11月は3回、2月は2回に分けて実施した。	マック:8名 寿司:8名(1) :8名(2) :8名(3) :9名(4) :10名(5)
9月16日 20日	敬老会	16日に利用者の長寿をお祝いする式典を行う。コロナ禍の為、喜寿、米寿、最高齢者と奉仕活動の表彰者の方ごとに式典を分けて行う。午後は希望者のみのDVD上映の催しを行い、皆さん笑って楽しまれていた。 20日には昼食にお祝い膳を提供。	式典：26名 催し：23名 昼食：129名
10月15日	偕生園 縁日	偕生園で独自に秋祭りを開催する。偕生園各所に昭和の屋台風の飾り付けをし、昼食には縁日メニューを提供した。午後にはゲームコーナーを用意した。	昼食：122名 ゲーム:85名
11月11日	偕生園 文化祭	偕生園内で文化祭を開催する。ご利用者の日頃の成果を発表する作品展示を行い、参加者の意欲向上や未参加者に興味を持っていただき、クラブ活動の質の向上に繋げた。昼食も特別メニューを用意し、これまでの文化祭を感じて頂いた。	125名
12月18日 ～ 25日	クリスマス会	コロナ感染症予防の為、規模を縮小して実施する。飾り付けは電飾を使用するなど、去年よりも豪華なものとした。22日は食堂でケーキとドリンクを用意し、クリスマス気分を味わっていただいた。	93名

1月1日	正月式典	新年の飾りつけを行い、元旦に式典を開催した。今年も園内に神社と絵馬掛所を設置した。ひまわり、ばら・すみれフロアを2回に分けて行い、例年より簡素化して開催した。	94名
2月3日	節分	食堂にて甘納豆を配布し、豆まきを行う。最初に年男、年女の方だけで、次に職員が扮した鬼に参加者全員で豆まきをして、甘納豆を食べた。	57名
2月14日 ～ 3月4日	ひな祭り	利用者と共に食堂前廊下と食堂内にひな人形を飾る。皆さんできれいな飾りつけを見て楽しまれていた。	137名
3月25日	63回 開園記念日	昼食でお寿司を味わいながら食べられていた。コロナ感染症予防の為、例年の午後のコンサートは中止とした。	125名
3月28日 30日 31日	観桜会・お花見散歩	天候や桜が咲く日を考慮して、お花見をする日数を増やして実施する。参加者は自力での外出が困難な方を中心とした。久々の外出とあって、大いに花見を楽しまれていた。	10名(1) 8名(2) 21名(3)

③ボランティアによる演奏会、催し

開催日	ボランティア団体名	内容	参加者
12月23日 24日	啓明学園聖歌隊	聖歌隊の皆様より、演奏会DVDのプレゼントをいただく。23日15時、24日10時・15時のお茶会でDVDを流し、ハンドベルの演奏を鑑賞した。	41名

※コロナ禍の為、ボランティアによる演奏会は、毎年依頼している団体も含めて上記以外は全て中止とした。

≪その他≫

法要		コロナ感染症予防の為、7・9・3月いずれも中止とした。	

４．職員の概要

（１）職員配置状況

令和４年３月31日現在

職　種	法定数		４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
施設長	1	常	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
課長		常	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1
主任相談員	2	常	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
相談員	3	常	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		非	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75
		非	0.41	0.41	0.41	0.41	0.41	0.41	0.41	0.41	0.41	0.41	0.41	0.41
計			5.16	5.16	5.16	5.16	5.16	5.16	5.16	5.16	5.16	5.16	5.16	5.16
主任支援員	1	常	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
支援員	9～	常	10	10	10	10	10	11	11	11	11	11	10	10
支援員補助		非	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
支援員補助		非	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	04.5	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45
計			13.45	13.45	13.45	13.45	13.45	14.45	14.45	14.45	14.45	14.45	13.45	13.45
クリーンスタッフ（清掃・洗濯）	.	非	0.87	0.87	0.87	0.87	0.87	0.87	0.87	0.87	0.87	0.87	0.87	0.87
		非	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
		非	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45
		非	0.87	0.87	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		非	0	0	0	0	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75
		非	0.37	0.37	0.37	0.37	0.37	0.37	0.37	0.37	0.37	0.37	0.37	0.37
計			3.06	3.06	2.19	2.19	2.94	2.94	2.94	2.94	2.94	2.94	2.94	2.94
医師		非	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
計			0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
看護師	2	常	2	2	2	2	2	1	2	1	1	1	1	1
		非	0.77	0.77	0.77	0.77	0.77	0.77	0.77	0.77	0.77	0.77	0.77	0.77
		非	0	0	0	0	0	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
計			2.77	2.77	2.77	2.77	2.77	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07
理学療法士		非	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
計			0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
事務員	1～	常	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
		非	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
計			4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3
栄養士	1	常	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
調理師	４～	常	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
		非	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

		非	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75
		非	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
		非	0.7	0.7	0.7	0.7	0	0	0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
調理師	4～	非	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
		非	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0	0	0.26	0.26	0.26
		非	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35
		非	0.38	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42
計			8.72	8.76	8.76	8.76	8.26	8.26	8.26	8.12	8.12	8.38	8.38	8.38

（２）定例会議

会議名（開催日）	内　　容
職員会議 （毎月第２金曜日）	月 1 回開催。各モニター・委員会・クラブ担当・行事担当及び相談員から業務改善に関する項目を事前準備し参加することで、効率的且つ効果的な協議の場となった。
相談員会議 （毎月第 1，3 木曜日）	月 2 回開催で、半月単位のスケジュール確認、特に情報共有の必要なご利用者の状況共有、入退所の進捗確認、研修、行事の確認を行っている。
ケース会議 （第 2、第 4 木曜日）	支援員・相談員・看護師・栄養士・施設長が参加し、個別支援計画について検討した。1 回につき 5～6 ケースを検討。
ＮＳＴ会議 （ケース会議にて）	ケース会議にて実施。偕生園ご利用者の栄養状態に着目し、栄養士が主体となって低栄養、体重低下があるご利用者への対応を検討した。
朝夕ミーティング	朝 9 時 10 分、夕 17 時に実施。日勤又は夜勤リーダーからの申送り、看護師・栄養士・相談員からの伝達及びスケジュール確認を行っている。

（３）委員会

委員会名（開催日）	回数	内　　容
リスクマネジメント委員会	4 回	6 月、9 月、12 月、3 月に実施。3 か月間の事故報告の再発防止策の確認を行っている。
身体拘束廃止委員会	4 回	リスクマネジメント委員会の中で実施。9 月、3 月は身体拘束研修を実施している。
感染予防委員会	4 回	リスクマネジメント委員会の中で実施。9 月、3 月は感染症対策研修を実施している。

（４）研修

令和 3 年度　内部、外部研修実施報告

NO	研修名	実施日	場所	職員
1	新入職職員研修	4 月 6 日	面会室	3 名
2	介護医療研修	4 月 28 日	1 F 診療所	2 名
3	リーダー職基礎研修	5 月 17 日	面会室	1 名
4	主任以上専門研修	6 月 7 日	面会室	2 名
5	相談員悉皆研修：前期①	6 月 18 日	ｗｅｂ	2 名
6	相談員悉皆研修：前期②	6 月 24 日	センター２F	3 名
7	介護医療研修	6 月 30 日	1 F 診療所	1 名
8	感染症研修：新型コロナ BCP について	6/23~7/15	動画視聴	19 名
9	ウェルスダイナミクス研修：プロファイル	7 月 9 日	ｗｅｂ	2 名
10	IT 研修	7 月 15 日	ｗｅｂ	3 名
11	IT 研修：アーカイブ視聴	７月１５～３１日	動画視聴	17 名
12	相談員医療研修	7 月 27 日	面会室	7 名
13	社会福祉事業従事者：人権研修	8 月 4 日	ｗｅｂ	1 名
14	相談員悉皆研修：後期②	9 月 17 日	センター２F	4 名
15	衛生研修	9 月中	動画視聴	21 名
16	新入職職員研修	10 月 5 日	面会室	2 名
17	感染症研修	１０月中	動画視聴	21 名

18	高齢者虐待防止：虐待の芽チェックリスト	10/14～10/31	アンケート	21 名
19	相談員医療研修	11 月 9 日	センター２F	6 名
20	ウェルスダイナミクス研修：復習研修	11 月 19 日	ｗｅｂ	3 名
21	相談員悉皆研修：後期①	11 月 25 日	ｗｅｂ	4 名
22	リスクマネジメント研修	12 月 17 日	センター２F	2 名
23	ウェルスダイナミクス研修:タレントスペクトル	2 月 18 日	ｗｅｂ	3 名
24	年度末成果発表会	2 月 24 日	ｗｅｂ	20 名
25	安全運転研修	3 月 15 日	ｗｅｂ	8 名
26	相談員医療研修	3 月 22 日	面会室	6 名
27	相談員研修：ウェルスダイナミクス研修：プロファイル	3 月 29 日	ｗｅｂ	6 名

（５）実習生の受け入れ

①職場体験

※感染予防のため令和 3 年度は実施していない。

②福祉体験学習

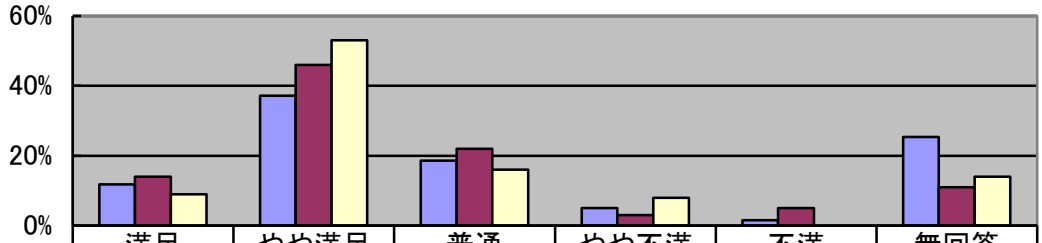
※感染予防のため令和 3 年度は実施していない。

（６）福祉サービス第三者評価結果

令和３年度は、利用者調査（郵送）を実施した。
評価機関　：特定非営利活動法人　福祉推進機構アシスト

利用者調査実施日　：令和 3 年 10 月 26 日
利用者調査結果報告日　：令和 4 年 2 月 12 日
利用者総数 140 名中　：調査対象者数 140 名 / 有効回答者数 59 名
調査方法　：アンケート自己記入 59 名

※結果については福祉ナビゲーション参照



	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
2021年度	12%	37%	19%	5%	2%	25%
2020年度	14%	46%	22%	3%	5%	11%
2019年度	9%	53%	16%	8%	0%	14%

令和３年度

事　業　報　告　書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

特別養護老人ホーム愛全園

令和３年度　事業実績報告

1. 特別養護老人ホーム　愛全園

（1）入所状況（稼働状況）３年間の推移

区分	定員数	入所者数	稼働率
令和０１年度	39,303	108.50	95.88%
令和０２年度	39,353	107.91	96.26%
令和０３年度	39,409	107.96	96.47%

＊平成３０年８月より定数変更（１１０床　→　１１２床）

令和３年度（令和３年４月１日　～　令和４年３月31日）

月	入所者数	稼働率	新入所者
４月	3,243	96.52%	3
５月	3,369	97.03%	2
６月	3,237	96.34%	1
７月	3,245	93.46%	3
８月	3,214	92.57%	3
９月	3,214	96.46%	3
10月	3,316	95.51%	3
11月	3,275	97.47%	7
12月	3,393	97.72%	4
１月	3,390	97.64%	3
２月	3,096	98.72%	2
３月	3,417	98.42%	1
平均	3,284	96.47%	(合計)35

令和３年度の年平均在籍利用者数は107.96名（稼働率96.47%）であり、目標の98%に達していない。令和２年度は退所者が18名、入所者が20名であったのに対し、令和３年度は退所者38名、入所者35名であった。新型コロナウイルス感染症対策を行い新規入所の受け入れを行なっています。また、ショートステイを利用して頂き入所に繋げています。

（2）①月別退所状況

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	計	平均稼働率
R01年度	7	7	2	0	4	4	6	4	4	3	2	3	46	95.88
R02年度	2	1	2	1	2	1	3	1	1	2	1	1	18	96.26

R03 年度	4	3	4	5	1	1	5	4	5	0	1	5	38	96.47

令和 3 年度の退所者は合計 38 名。永眠者は 35 名（施設内 35 名・病院 0 名）となっている。入院による退所は 3 名であった。

②看取りの実施数（令和 3 年度　　35 名）

昭島市	27
渋谷区	4
世田谷区	2
国立市	0
大田区	1
八王子市	1
計	35

永眠者 35 名の内、施設内での看取りは 35 名となり、施設での看取り率は 100%であった。施設内看取りの利用者 35 名に対し加算を算定したのは 16 名となり取得率 45.7%となっている。また、看取り加算の取得率が低い理由とし入所後まもなくご逝去された方（６名）、突然ご逝去された方(13 名)の看取りカンファレンスまで行えなかった。

（３）入院者の状況

入院者数	7
入院延日数	94

昨年度は 385 日に入院延日数であったが、今年度は 94 日であった。

前年度と比べ、入院延日数が減少している。

（４）入所者の状況

①　入所者年齢　令和 4 年 3 月 31 日現在

区分	入所者数	最高齢	最若	平均
男性	25 名	95	66	82.3
女性	83 名	105	69	88.9
計	108 名			87.4

最高齢者は 105 歳。100 歳以上は 7 名で、すべて女性。

②　平均入所期間　　3 月 31 日における平均入所期間（ヶ月）

	Ｈ３１年	Ｒ２年	Ｒ３年
区分	入所期間	入所期間	入所期間
男性	53.9	46.2	44.1
女性	36.3	38.4	45.6
計	40.5	40.4	45.2

今年度は退所者が少なく、平均入所期間が延びている。今年度の入所後 1 ヶ月以内での退所者（死亡退所）は 0 名。入所期間が 20 年以上の方は 0 名。

③　介護度別人数（令和 4 年 3 月 31 日現在）

区分	男性	女性	合計
要介護 1	0	1	1
要介護 2	0	1	1
要介護 3	5	13	18
要介護 4	7	36	43
要介護 5	13	32	45
合計	25	83	108

平均介護度

男性	4.3
女性	4.2
全体	4.2

令和 3 年度末において要介護 4、要介護 5 の利用者の割合は 81.5%となっている。

④　日常生活動作（ＡＤＬ）の状況（令和４年３月３１日現在）

ア　食事形態

普通食	12 人
一口大	14 人
含浸食	47 人
手作り流動	14 人
流動食	11 人
その他	10 人

食事介助別

自立	58 人
部分自立	14 人
全介助	36 人

イ　入浴形態

一般浴	11 人
チェア浴	40 人
機械浴	57 人

入浴介助別

自立	0 人
部分自立	34 人
全介助	74 人

ウ　排泄状況

自立	5 人
部分介助	40 人
全介助	63 人

２階にも特浴を導入し、利用者の機能に沿った入浴介助が実施出来た。
食事についても医務課・栄養課・介護課で連携し、食形態や必要なカロリーなど利用者に合った食事を提供することが出来た。
また排泄についても尿測の実施や日頃のケアからの視点で利用者にあったパットを使用することが

出来た。

２　短期入所生活介護　愛全園

（１）利用状況

月	R1 年度	稼働率	R2 年度	稼働率	R3 年度	稼働率
４月	441	73.5%	351	58.5%	300	50.0%
５月	485	78.2%	267	43.06%	336	54.1%
６月	514	85.7%	212	35.33%	296	49.33%
７月	544	87.7%	114	18.39%	294	47.42%
８月	551	88.9%	93	15.0%	313	50.48%
９月	506	84.3%	118	19.67%	230	38.33%
10 月	522	84.2%	110	17.74%	289	46.61%
11 月	512	85.3%	120	20.0%	329	54.83%
12 月	489	78.9%	195	31.45%	354	57.10%
１月	443	71.5%	265	42.74%	382	61.61%
２月	494	85.2%	229	40.89%	378	67.50%
３月	488	78.7%	349	56.29%	445	71.77%
合計	5,989	81.8%	2,423	33.19%	3946	54.05%

＊平成３０年８月より定数変更（２２床　→　２０床）

（２）新規利用者状況（R3 年度）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
新規人員	4	2	3	2	3	2
新規延べ	24	8	50	10	52	19
ﾘﾋﾟｰﾀｰ延べ	276	328	246	284	261	211
延べ人員計	300	336	296	294	313	230
新規利用率	8%	2.4%	16.9%	3.4%	16.6%	8.7%
月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
新規人員	1	8	4	5	2	8
新規延べ	14	89	19	64	32	55
ﾘﾋﾟｰﾀｰ延べ	275	240	335	318	346	390
延べ人員計	289	329	354	382	378	445
新規利用率	4.8%	27.0%	5.7%	16.8%	8.5%	12.3%

7 月より、前月の実績を居宅事業所に直接足を運びお届けし、ショートステイのチラシも配布。利用されていない昭島市内、市外の居宅事業所周りを行うことで、新規利用者を獲得。徐々にコロナ前に利用されていた利用者の利用が再開しました。特別養護老人ホーム入所希望でロングショートステイを

利用する方も増えてきました。

会議日	稼働率（%）	会議内容
4 月 9 日	50.0%	デイサービスに営業のチラシを入れた事で、新規の方が増えた為、リハビリや看護師にも協力依頼。
5 月 21 日	54.1%	利用者衣類・持ち物の名前が無記名の方が増えている為、利用開始前連絡時に名前の記入の確認。
6 月 11 日	49.33%	ショートステイが再開している事を知らないケアマネジャーがいる為、現在利用されていないケアマネジャーに電話連絡をしていく。
7 月 9 日	47.42%	居宅事業所へ実績配布開始。
8 月 13 日	50.48%	ロングショート利用中の利用者３名特養入所。
9 月 10 日	38.33%	特養の待機者に対して、現在の状況確認とともにショートステイ利用を進めている。
10 月 8 日	46.61%	各居宅事業所に実績配布時にチラシを配布。
11 月 12 日	54.83%	各事業所回りをした結果、ショートの問い合わせ件数が増えてきている。
12 月 10 日	57.10%	利用記録用紙のフォーマットの変更。
1 月 14 日	61.61%	新規利用の方も徐々に増えてきているので、タイムスケジュールの確認。
2 月 18 日	67.50%	利用者の居室環境の見直しを行なう。
3 月 11 日	71.77%	稼働率をあげるために行うべきことについて確認。

今後の課題

・愛全園ショートステイを利用していただくためのメリットを再アプローチ。
・定期的なチラシの配布。コロナ過における居宅への営業活動。
・市内だけに目を向けるのではなく、特養入所を視野に入れた他自治体にショートからの利用を積極的に伝えてロング利用を実施する為の行政とのコミュニケーション。
・併設デイサービス・養護老人ホームとの利用者情報の更なる共有。
・同日入退所、月末月初のご利用を促し、空いている居室を作らない。

３．運営状況

（１）利用者活動

①　年間行事実施状況

実施月	行事名	内容	参加者
４月	観桜会	中止	利用者０名・職員０名
５月	バラ見学バスツアー	中止	利用者０名・職員０名
５月	お茶会	中止	利用者０名・職員０名・Vo0名・家族０名
８月	納涼祭	中止	利用者０名・職員０名・家族０名
９月	敬老式典 長寿祭	内容変更し秋祭り 模擬店やスイカ割りなど	利用者42名・職員11名・家族０名
11月	紅葉バスツアー	中止	利用者０名・職員０名
11月	フェニックス発表会	中止	利用者０名・職員０名・Vo0名
12月	年忘れバイキング	ケーキバイキング	利用者42名・職員10名・Vo0名
１月	元旦式典・出し物	内容変更し新年の挨拶動画	利用者名・職員名・家族名 利用者42名・職員７名・家族０名

新型コロナウイルスにより年間行事もほとんど中止や内容の変更を行っての実施であった。

② クラブ活動実施状況

クラブ名	年間参加人数
書道部	０名
茶道部	０名
民謡部	０名
華道部	０名
カラオケ部	０名
健康体操クラブ	０名

新型コロナウイルスにより活動自粛

新型コロナウイルスによりクラブ活動を全面的自粛している。
講師を招いてのクラブ活動としてではないが、職員が準備をしての書道クラブは現在も続けている。

③新型コロナウイルス感染症対策により、行事やクラブ活動が中止となり、代替の企画を実施した。
4月　園庭の散策(花見散策)
5月　園庭でのお茶会
6月　園内でのお茶会
8月～11月　おやつバイキング、フルーツバイキング、飲酒の会など

（２）諸会議実施状況

①　ケース会議

月	議題
４月	利用者 9 名のケア計画立案
５月	利用者 10 名のケア計画立案
６月	利用者 9 名のケア計画立案
７月	利用者 10 名のケア計画立案
８月	利用者 10 名のケア計画立案
９月	利用者 10 名のケア計画立案
１０月	利用者 9 名のケア計画立案
１１月	利用者 10 名のケア計画立案
１２月	利用者 10 名のケア計画立案
１月	利用者 9 名のケア計画立案
２月	利用者 10 名のケア計画立案
３月	利用者 10 名のケア計画立案

ケース会議：年間で 116 名の利用者ケース検討を行った。看取りカンファレンス、デスカンファレンスも適宜実施した。

②　事故発生予防対策委員会

月	議題
４月～３月	ヒヤリハット・事故報告の検証　各階の主任から報告書の中の事例の説明

事故・ヒヤリハット等の状況（ショートステイも含む）

事故内容	件数	内訳		
		経過観察	要通院（要治療）	入院
転落（ずり落ち）	57	57	0	0
転倒	55	55	0	0
誤薬・配薬ミス	7	7	0	0
皮膚等損傷	61	61	0	0
誤嚥・窒息	1	1	0	0
その他	19	19	0	0
ヒヤリハット	456	―	―	―

令和 3 度事故報告総数は 200 件。昨年度より 110 件増え、事故予防対策委員会にて再検証を行なっている。また、ヒヤリハットでは小さな気づきでも記入する事により前年度 301 件より 155 件増えた。朝礼等でヒヤリハット報告をすることで、気づきの意識を育てた。

③　職員会議（フロアミーティング）

月	議題	1F 参加人数	2F 参加人数
４月	各フロア業務についての自由意見、	8 名	7 名
５月	各フロア業務についての自由意見、ATP 検査、クレドについて	7 名	6 名
６月	各フロア業務についての自由意見、クレドについて	8 名	8 名
７月	各フロア業務についての自由意見、ｱｸﾃｨﾋﾞﾃｨについて	10 名	9 名
８月	各フロア業務についての自由意見	0 名	0 名
９月	各フロア業務についての自由意見、クレドについて	10 名	8 名
10 月	各フロア業務についての自由意見、S/S 予約表、について	9 名	6 名
11 月	各フロア業務についての自由意見、嘔吐物処理、クレド	11 名	10 名
12 月	各フロア業務についての自由意見	0 名	0 名
１月	各フロア業務についての自由意見	0 名	0 名
２月	各フロア業務についての自由意見	0 名	0 名
３月	各フロア業務についての自由意見	0 名	0 名

職員不足の為、開催できない月がありましたが、一人でも参加出来れば実施するということを次年度の課題にしたいと思います。各フロア業務について参加者から自由に意見をあげてもらい業務改善に繋げました。またクレドの具体策もフロア会議にて決めました。

④　介護医務連絡会議

月	議題
４月～３月	各部署からの連絡事項、確認事項、利用者の要介護度の確認、行事予定等の確認。関係各部署で情報共有を行った。

介護・医務連絡会議：年間で 12 回開催。各部署の情報交換を行い課題への連携を確認した。介護課等からの利用者ケアについての相談、現在の医療の状況については医師から直接アドバイスがある。

⑤　新規入所者検討委員会における新規入所者の判定、褥瘡予防委員会、感染症対策委員会、事故予防対策委員会、身体拘束廃止委員会を年間でそれぞれ 12 回開催。

（３）利用者家族の状況

①面会

面会数	昭島	国立	渋谷	世田谷	大田	荒川	豊島	練馬	飯能	八王子
１２回以上	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0
６～11 回	13	0	0	1	0	0	0	0	0	1
１～５回	44	2	3	6	0	2	0	1	1	0
０回	18	1	6	9	3	2	1	0	0	0

計	92	3	9	16	3	4	1	1	1	1

面会については、新型コロナウイルス感染対策によりボランティア室に簡易陰圧室を設置。ご家族様に簡易陰圧室に入って頂き予約制にて行っています。

②オンライン面会の利用状況

面会数	12 回以上	6～11 回	1～5 回
利用者数	1	0	9

新型コロナウイルス感染症対策により、ＺＯＯＭを利用した面会を設定。ホームページやお便りで家族に周知した。

③家族会　　入会者数　87 名

家族会開催回数

総会	懇談会	役員会
0 回	0 回	0 回

毎年度ごとに総会 1 回、懇親会 1 回、役員会 2 回、開催してきたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の対応のためすべての開催を見合わせた。

（４）リハビリ実績

月	ＰＴによる機能評価	ＯＴによる機能評価
４月	16	14
５月	25	15
６月	29	16
７月	24	18
８月	23	17
９月	20	17
10 月	21	16
11 月	27	18
12 月	33	18
１月	23	20
２月	30	23
３月	29	22

月	理学療法			
	筋力強化	歩行訓練	ＲＯＭ訓練	リハマシン
４月	798	394	26	665
５月	710	346	19	557
６月	731	384	33	573
７月	705	394	31	549
８月	732	412	24	564

９月	745	403	69	533
10 月	788	278	93	553
11 月	760	416	77	528
12 月	753	452	64	554
１月	776	478	85	504
２月	750	472	52	468
３月	850	567	84	563
合計	9098	4996	657	6611
月	ラジオ体操	全身体操	口腔体操	棒体操
４月	799	1377	2502	209
５月	873	1180	2506	310
６月	883	1190	2444	449
７月	887	1323	2537	404
８月	910	1291	2419	288
９月	971	1507	2727	324
10 月	1010	1366	2823	707
11 月	1040	1526	2855	687
12 月	1033	1504	2703	737
１月	1096	1246	2561	763
２月	1024	1135	2386	648
３月	1094	1480	2998	664
合計	11620	16125	31461	6190

（５）モニター活動

モニター名	活動・実績・課題
排泄	・年２回(夏・冬)の定期尿測。必要時の尿測及びアセスメントの実施（新入所時も含む） ・汚物室、各カートの清掃。軟膏、物品の発注、管理。 ・新人職員への排泄検定の実施。 ・排泄カート１台、ポータブルトイレ購入。(2F) ・テーナ導入に向けた事前準備。 ・全職員対象のオムツ体験の実施。
食事	・利用者の機能に沿った食事内容・食事席の検討。 ・自助具、口腔ケア用品等の使用物品の発注・管理。 ・補助栄養の発注・管理。 ・配膳室内の清掃。

	・新人職員への食事検定の実施。 ・ミールラウンドの計画及び進行の確認。 ・記録表管理。
入浴	・入浴アセスメントを実施し、個々の利用者に適した入浴形態の検討。 ・手浴・足浴者の対応・管理。 ・行事湯(菖蒲湯・柚子湯)の実施。入浴剤の準備・管理 ・入浴日確認表・衣類交換確認表更新。 ・毎月の体重測定の実施・管理。 ・新人職員への入浴検定の実施。 ・特浴・チェア浴・一般浴・ボード浴の清掃・管理。
リハ・安全対策	・居室ベッド環境表作成・更新。 ・安全対策管理表の見直し更新。 ・車椅子清掃(2F 毎週日曜日) ・クッション類の把握・管理　防水カバー購入。
研修	・教職課程介護等体験学生受け入れ（新型コロナウイルスにより中止）

排泄の課題：機能別のアセスメント実施のタイミング。清潔区域の見直し。
排泄ケアのタイミングの見直し。

食事の課題：各フロア　テーブルごとの職員の動きの手順書作成。物品管理の手順書作成。

入浴の課題：利用者の入浴日の見直しによる業務の平準化。準備片付け等の手順書作成。

リハの課題：ＰＴ・ＯＴとの連携。ベッド環境等更新の統一。物品管理。

（６）研修・外部活動等

外部研修・委員会

実施月	研修名	参加者
6 月～10 月	東京都介護職員によるたん吸引等実施の為の研修	介護職　3 名
1 月、3 月	介護報酬請求に関する研修会 (オンライン研修)	相談員・事務員　5 名
10 月～3 月	東京都介護職員によるたん吸引等実施の為の研修	介護職　2 名

内部研修

実施月	研修名	内容	講師	参加職員数
6・11 月	相談員研修	連係プレーの強化・事例検討モデルの理解等	福山和女氏	4 名

4・7・10・11 月	法人新入職職員研修	法人理念・法人医療のあり方・法人職員としての期待	理事長・診療所所長・施設長	4 名
10 月	法人感染症研修 各部署毎に変更	感染症の予防・対策	丸山園長	22 名程度
10～11 月	法人内他職場交流研修 （中止）	他職場を体験し、学びを得る	各事業所主任・副主任	中止
2 月	法人研修・研究成果発表会	各事業所から発表 （Zoom で開催）	各事業所発表者	80 名程度

毎週水曜日のＮＳＴ ラウンドの際にも介護職員が参加し、会議内での報告を夕方のミーティング等で報告し、情報の共有化を図っており、勤務の中に組み込む研修を実施した。

教育実習（教員免許法の特例による社会福祉施設における介護等体験事業）
　令和 3 年度の教育実習生は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、受け入れ中止。

法人交流・市内相談員交流会
　月１回、ＺＯＯＭにて市内特養相談会を実施。

＜施設長・外部活動＞
東京都高齢者福祉施設協議会

広報戦略推進委員会	6/8 、 8/27 、11/10、1/26	福祉広報、高齢協ホームページに関すること、介護人材確保に関する取組、高齢協フェイスブックの定期的更新

東京都社会福祉協議会

総務委員会	11/10、1/22	令和２年度事業報告、令和３年度事業計画、活動、高齢協が取り組むべき課題等主に東社協の担当者からの報告が高齢協にも関係する案件もあり、積極的意見交換に努めた。

高齢者施設福祉部会

北南地域ブロック会（センター長、施設長合同方式）	中止	中止

特養施設長分科会

特養施設長分科会	1/25	次期報酬改定 Zoom にて参加

北南ブロック市内活動

市内施設長会	4/28、6/18、8/13、10/15、12/17、2/18	各施設からの報告、感染症パンデミック時の対応、介護人材確保にする情報交換等

昭島市保健福祉部介護福祉課共催

昭島市介護人材確保実行委員会	中止	中止

昭島市介護保険推進協議会	11/14、12/3、2/5	昭島市高齢者保健福祉計画・第８期介護保険事業計画２０２１年度～２０２３年度　事業者代表委員として参加

（７）共同研究

実施月	内容
４月～３月	日常生活動作等の科学的評価法の開発　　産総研

（８）福祉サービス第三者評価について

令和２年度、第三者評価を特定非営利活動法人福祉推進機構アシストにて実施。
結果については福祉ナビゲーションにもアップされた。

令和 3 年度
【評価機関名：特定非営利活動法人福祉推進機構アシスト】
【利用者調査：指定介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム)】
≪事業所名：特別養護老人ホーム愛全園≫
調査対象：全利用者１１１名中、調査が可能な２０名に対し調査を実施し全員から有効回答を得た。
対象者は男 3 人、女１７人。年齢層は８０歳代未満５人、８０歳代９人、９０歳以上６人。
要介護度は２が２人、３が６人、４が１１人、５が１人。
調査方法：３人の調査員が、利用者と１対１の聞き取り調査を行った。調査に当たっては、事前に事

業者と十分に協議し、聞き取り調査にあたり留意すべき事項等について説明を受け、利用者の意向がより把握できるよう工夫して実施した。調査票は共通項目を使用。

利用者調査全体のコメント

総合的な満足度では、「大変満足」１０人、「満足」８人で、合わせて１８人（９０％）の利用者が満足と答えている。一方、「どちらともいえない」は１人（５％）、「不満」１人（５％）で、「大変不満」はいない。高い満足度を得ている。日頃感じている施設に対する意見・要望では、「一番良い施設です。大変お世話になっています」、「楽しくやっています」、「安心して生活しています」、「愛全園以外にどこにも行くつもりはありません」、などの声が寄せられている。個別の質問では、「病気やけがへの対応」、「プライバシーの厳守」では全員が「はい」と答えている。他に、「日常での必要な介護」、「施設の生活はくつろげる」、「日常的に、健康状態を気にかけている」、「職員の接遇や態度」、「利用者への気持ちの尊重」の項目で９割以上が「はい」と答えている。

今後も第三者評価から得た貴重な意見をしっかりと受け止め施設内の改善に努めていく。

ご利用者・ご家族から改善して欲しい事、改善策

・ご利用者より「おいしいよ」とお話を頂く一方で「味があまりしない」との意見がありました。

改善策⇒愛友会にて、無添加、地産地消を心掛け、自家厨房にて昔ながらの日本の食材を中心に認知症予防に効果のある「まごわやさしいこ」（まめ、ごま、わかめ海藻、野菜、魚、椎茸、芋、米、酵素）を取り入れた和洋中の献立を栄養士と施設長にて作成している事を説明し、お一人お一人にあった食形態を提供しています。

・ご利用者より、以前のようにボランティアの人に来て欲しい。

改善策⇒コロナ禍の為、現在も施設内には入って頂いていませんが、ZOOM にて傾聴ボランティア、読み聞かせボランティアを行なっています。

・ご家族より、コロナ禍の為に居室を観た事がないです。

改善策⇒現在も居室内に入って頂けない為、施設内の写真にて観て頂いています。

・ご家族より、床掃除は毎日して欲しいと思います。（コロナ前、埃が落ちていた事がありました。）

改善策⇒間接業務職員を複数名で、居室・トイレ・廊下等毎日清掃実施。法人内に環境美化委員会を設置しており、ＡＴＰ拭き取り検査を定期的に実施し、汚れの酷い所の清掃を強化。

４　認定栄養・ケアステーション愛全園（日本栄養士会公認）

（１）「昭島市予防訪問栄養サービス委託事業」（市総合事業３種の内栄養部門）

実績（延べ人数）

１件＠６０００円（内　自己負担２５０円）（延べ３０件）

・・・３か月に１回実積書、報告書を添えて市請求

（内容）市の予防総合事業（運動機能向上・口腔ケア・栄養改善）として

実施、利用条件はかなり緩和され“６５歳以上の高齢者が食事・栄養で困

っている事”と以下の三点が挙げられる。

① 検査結果が心配
② ＢＭＩが低体重・過体重が気になっている
③ その他食事に関しての質問等
１コース６回として市介護予防係と担当の包括支援センターと連携して実施する。介護予防、フレール状況の方は虚弱と見えてもご本人は未だ大丈夫と思っている方が多く依頼は少ない。重要な予防の時期、市の講習等を通じてＰＲをしている。

（２）「介護保険外訪問栄養食支援サービス」
実績（延べ人数）
自費のみ　＠１５００円（１１　件）
（要支援・要介護申請中未決定、早急に栄養・食事支援を受けたい、要支援・要介護は未認定、認定前等であるが食事相談を受けたい方。
実績（延べ人数）
コロナ禍で受け入れ中止・保留

（３）　研修生受け入れ（①施設全体の栄養研修　②訪問栄養のみの体験研修）
① システ学会臨床栄養師研修受託述べ・・０件（数年に渡るので未請求も有り）
② 訪問栄養相談同行訪問研修・・・０件

（４）法人地域事業の協力
・地域還元事業　包括支援講座サロンに協力
・市の予防事業、市民講座、
・昭島ＮＳＴ（地域ＮＳＴ活動）
運営協力：当法人世話人（理事長と栄養ケアステーション管理栄養士が地域の医療福祉の関係者と共に運営に協力）４回/年会場（同胞援護会さくらホールの処）オンライン講習３年目
・在宅チーム医療栄養管理研究会運営に協力：会場：東京家政学院大学）又はオンラインで講座及びミーテング、運営委委員（理事長と栄養ケアステーシ管理栄養士）

・地域活動、健康いきいき・わいわいサロン運営（社会福祉協議会に協力）
会場（つつじヶ丘・大神会館・上友会館）運営協力１２回/年➡３回
他地域包括サロン（西部、南部、北部）にサロンメンバーが協力準備会議他５回

令和３年度

事　業　報　告　書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

愛全園在宅センター

1.昭島市高齢者在宅サービスセンター愛全園
2.居宅介護支援センター愛全園
3.訪問介護　ヘルパーほほえみ
4.昭島市南部地域包括支援センター愛全園
5.昭島市西部地域包括支援センター愛全園

令和 3 年度　事業報告

1. 昭島市高齢者在宅サービスセンター愛全園

（1）利用状況

	通所			総合			認知		
年度	元年度	2 年度	3 年度	元年度	2 年度	3 年度	元年度	2 年度	3 年度
定員数	5955	5905	5975	2580	2570	2590	10572	10476	10584
利用予定数	7520	6597	6429	1994	2074	1636	10722	9856	9447
利用実数	6006	4899	5148	1690	1560	1327	8533	7799	7900
お休み件数	1514	1698	1281	304	515	309	2189	2067	1492
稼働率	100.2	82.9	86.2	65.5	60.5	51.2	80.7	74.5	74.6
お休み率	20.1	25.3	20	15.2	24.9	19.1	20.4	20.6	15.7

※「定員数」は、一日を通所20名（土曜 15 名）、総合 10 名（土曜営業なし）、認知 36 名（土曜 24 名）として、営業日数で乗じたもの。
※「利用予定数」は、登録利用者と追加利用者を加算したもの。提供票上では利用予定ではないが、統計でデータが取れるように当該日に利用が予定されていると仮定し、全利用者数を表す。
※「利用実数」は利用された全件数、「お休み件数」は当日キャンセルを含むお休みされた利用者数を表す。
※「稼働率」「お休み率」の計算式は次の通り。
稼働率＝（利用実数÷定員数）×100。お休み率＝（お休み件数÷利用予定数）×100。

3 年度の稼働率、お休み率は以下の通り。

＜令和 3 年度　月別利用状況＞

通所

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
定員数	500	495	500	515	500	500	495	500	500	490	460	520	5975	497.9
利用予定数	541	546	553	560	553	547	524	542	555	502	491	515	6429	535.8
利用実数	437	432	454	442	444	453	446	433	432	422	366	387	5148	429
お休み件数	104	114	99	118	109	94	78	109	123	80	125	128	1281	106.8
稼働率	87.4	87.3	90.8	85.8	88.8	90.6	90.1	86.6	86.4	86.1	79.6	74.4	86.2	86.2
お休み率	19.2	20.9	17.9	21.1	19.7	17.2	14.9	20.1	22.2	15.9	25.5	24.9	20	20

総合

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
定員数	220	210	220	220	220	220	210	220	220	200	200	230	2590	215.8
利用予定数	177	173	162	149	134	127	119	124	122	114	113	122	1636	136.3
利用実数	149	144	134	119	110	116	92	88	95	89	94	97	1327	110.6
お休み件数	28	29	28	30	24	11	27	36	27	25	19	25	309	25.8
稼働率	67.7	68.6	60.9	54.1	50	52.7	43.8	40	43.2	44.5	47	42.2	51.2	51.2
お休み率	15.8	16.8	17.3	20.1	17.9	8.7	22.7	29	22.1	21.9	16.8	20.5	19.1	19.1

※通所系 （通所＋総合の 合算）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
定員数	720	705	720	735	720	720	705	720	720	690	660	750	8565	713.8
利用予定数	718	719	715	709	687	674	643	666	677	616	604	637	8065	672.1
利用実数	586	576	588	561	554	569	538	521	527	511	460	484	6475	539.6
お休み件数	132	143	127	148	133	105	105	145	150	105	144	153	1590	132.5
稼働率	81.4	81.7	81.7	76.3	76.9	79	76.3	72.4	73.2	74.1	69.7	64.5	75.6	75.6
お休み率	18.4	19.9	17.8	20.9	19.4	15.6	16.3	21.8	22.2	17	23.8	24	19.8	19.8

認知

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
定員数	888	876	888	912	888	888	876	888	888	852	816	924	10584	882
利用予定数	749	754	774	830	817	798	789	876	799	697	718	846	9447	787.3
利用実数	632	641	645	703	659	624	656	693	688	644	618	697	7900	658.3
お休み件数	117	113	129	127	158	174	133	128	111	53	100	149	1492	124.3
稼働率	71.2	73.2	72.6	77.1	74.2	70.3	74.9	78	77.5	75.6	75.7	75.4	74.6	74.6
お休み率	15.6	15	16.7	15.3	19.3	21.8	16.9	14.6	13.9	7.6	13.9	17.6	15.7	15.7

稼働率　目標稼働率通所系 90%、認知 80%に対して

通所系：75.6%(2 年度 76.1%)、認知：74.6%(2 年度 74.5%)。

お休み率　通所系：19.8%（2 年度 25.2%)、認知：15.7%(2 年度 20.6%)。

令和 2 年度と令和 3 年度と比較し通所稼働率は低下し、年間を通してコロナ禍の影響を受けた。新規の利用者を受け入れ始め、消毒の徹底も実施することで見学ができる状況になった。予防・総合については、通所系合算（通所＋予防）で定員が 30 名と決まっている中で、通所の利用者が増えると予防の利用者が減り、予防の利用者が増えると通所の利用者が減るというバランスにある。令和 3 年度のお休み率は通所、認知と減少したが予防の登録利用者が減っている。

（2）お休み件数

		通所			総合			認知		
年度		元年度	2 年度	3 年度	元年度	2 年度	3 年度	元年度	2 年度	3 年度
お休み件数		1514	1698	1281	304	515	309	2185	2067	1492
理由	入院	347	364	136	20	31	16	414	309	251
	通院	72	64	111	20	22	23	92	79	60
	静養・体調不良	434	269	381	131	107	128	467	335	265
	私用	179	757	254	121	354	140	301	564	429
	他施設 S/S	47	160	114	1	0	0	409	504	92
	愛全園 S/S	320	45	227	3	0	0	423	207	295
	提供票上	115	39	58	8	1	2	79	59	100

※「愛全園 S/S」は併設の特別養護老人ホーム愛全園のショートステイ、「他施設 S/S」は、他の特養、老健のショートステイを表している。

※「提供票上」とは、ケアマネージャーから提供票が渡された段階で、既にお休みが予定されていたもの。私用や定期通院等がこれに該当するが、明確に理由が伝えられていないケースも多いため、「提供票上」として集計とした。尚、「提供票上」のお休みについては、振替利用対応を行うことで、稼働率に影響がない対策を講じた。

＜令和 3 年度　月別お休み件数＞

通所

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
お休み件数		104	114	99	118	109	94	78	109	123	80	125	128	1281	106.8
理由	入院	7	1	0	2	2	7	0	5	31	30	20	31	136	11.3
	通院	11	14	12	8	13	8	14	6	10	3	6	6	111	9.3
	静養・体調不良	45	46	17	23	27	24	17	35	31	19	45	52	381	31.8
	私用	5	16	33	24	19	20	19	26	24	13	33	22	254	21.2
	他施設 S/S	14	14	13	13	13	12	10	13	1	2	6	3	114	9.5
	愛全園 S/S	16	16	17	31	29	20	14	21	24	12	15	12	227	18.9
	提供票上	6	7	7	17	6	3	4	3	2	1	0	2	58	4.8

総合

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
お休み件数		28	29	28	30	24	11	27	36	27	25	19	25	309	25.8
理由	入院	2	0	0	1	0	0	2	4	0	0	0	7	16	1.3
	通院	6	3	0	1	0	1	1	2	4	1	2	2	23	2
	静養・体調不良	7	7	6	15	10	1	5	19	21	22	7	8	128	10.7
	私用	13	19	22	13	14	9	18	11	2	2	9	8	140	11.7
	他施設 S/S	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	愛全園 S/S	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	提供票上	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	0.2

認知

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
お休み件数		117	113	129	127	158	174	133	128	111	53	100	149	1492	124.3
理由	入院	21	9	10	5	27	59	39	51	30	0	0	0	251	20.9
	通院	7	6	3	8	5	6	5	4	4	2	7	3	60	5
	静養・体調不良	12	6	30	28	37	14	18	30	10	8	32	40	265	22.1
	私用	27	38	38	42	39	47	37	14	22	19	37	69	429	35.8
	他施設 S/S	21	20	17	16	6	3	5	0	1	0	3	0	92	7.7
	愛全園 S/S	19	20	13	14	35	29	22	25	43	18	21	36	295	24.6
	提供票上	10	14	18	14	9	16	7	4	1	6	0	1	100	8.3

機能訓練において常勤 PT の配置により、自宅の様子なども含め細かく利用者の状態を知ることが出来、多くの利用者に効果がでるようになった。朝の時間だけでなく、昼食後や午後の時間もリカンベントバイクを活用される利用者も増々増えてきた。平成 30 年度から、健康への意識を高め理解を深めて頂けるよう、何か一つに特化するのではなく、専門職による機能訓練、口腔ケア、栄養評価、組み合わせ、個別メニューを総合的に見ている。お休み分の振替利用についても定着し、積極的にご利用して頂けるよう機会も多くなった。新しいご利用者・ご家族などへも、積極的な利用をご案内していきたいと思う。

（3）新規利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計	総計
通所	2	1	2	0	0	0(1)	1	0	2(1)	3	1(1)	1	13 (3)	40(13)
予防	3	0	0	0	1	0	1	0	1	1	2	0	9	
認知	0	1	2(3)	2(4)	2	1	2	1	2	1	1(3)	3	18 (10)	

※（ ）内は別事業から移行した人数を表す。たとえば、（予 1）は予防デイから移行、（通 1）は通所デイから移行を意味する。

（4）利用停止状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計	総計
通所	2	0	1(1)	2(2)	1	1	1	3	2	2	4	5	24(3)	57 (11)
予防	1	0	(2)	3(2)	1	(1)	0	0	(1)	0	1(2)	0	6(8)	
認知	4	2	1	2	2	2	2	2	5	2	1	2	27	

＜停止の理由＞通所

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入院				1				2			1	1	5
入所	1			1	1	1			1	2	1	1	9
他施設													0
静養							1	1	1		1	1	5
私用	1		1										2
移行			1	2									3
逝去											1	2	3

※「入所」は、特養もしくは老健に入所された利用者数、「他施設」は他のデイサービスやデイケアに変更された利用者数を表す。

＜停止の理由＞総合

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入院	1												1
入所				1	1								2
他施設													0
静養													0
私用				1									1
移行			2	2		1			1		2		8
逝去				1							1		2

※「入所」は、特養もしくは老健に入所された利用者数、「他施設」は他のデイサービスやデイケアに変更された利用者数を表す。

＜停止の理由＞認知

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入院			1		1			1	2				5
入所	4	1		1	1	2	1		3	2	1	2	18
他施設													0
静養		1		1				1					3
私用							1						1
区分変更													0
逝去													0

※「入所」は、特養もしくは老健に入所された利用者数、「他施設」は他のデイサービスやデイケアに変更された利用者数を表す。

新規利用者数は、コロナ禍の影響があったが令和 2 年度よりも増加している。利用停止者の理由で施設入所が増加している。コロナ禍にあって施設の入所に踏み切った方が増加している。消毒を徹底している効果もあり、体調不良者は減っていて、インフルエンザ等で休まれる方は減少していた。認知デイのイメージである重度者だけでなく、積極的に認知予防にも力を入れ、軽度認知症の利用者が活き活きと活動されている当デイサービスの印象がケアマネージャーに理解されてきたと考えられる。

ご家族には在宅時間が長く歩行状態が心配、といった感想を耳にすることが増えた。YouTube 等も活用して、デイでの体操を動画で配信した。また他のデイサービスから当デイサービスへ切り替える利用者もみられ、当デイサービスの特徴である歩行を中心にした運動や認知予防への取組みが受け入れられている。従来はクラブ活動で当デイサービスを選ぶケアマネージャーが多かったところ、最近では歩行をしたい、機能訓練をしたい、認知予防によいといったことで当デイサービスを選んでいただけるようになった。地域のケアマネージャーにも広く認知されてきている。

（5）利用者の概要

以下（5）の①および（6）（7）はすべて、4 年 3 月期に利用実績のあった方について集計しています。

① 介護度別人数および平均介護度

通所	男性	女性	計
要介護度 1	1	19	20
要介護度 2	2	12	14
要介護度 3	2	4	6
要介護度 4	2	5	7
要介護度 5	1	1	2
平均介護度	3	2	2.1

認知	男性	女性	計
要介護度 1	9	16	25
要介護度 2	2	11	13
要介護度 3	2	13	15
要介護度 4	1	5	6
要介護度 5	0	2	2
平均介護度	1.6	2.3	2.1

総合	男性	女性	計
要支援 1	4	4	8
要支援 2	2	9	11
平均介護度	1.3	1.7	1.6

要介護度 1～3 の割合が、通所デイで 81.6%、認知デイで 86.9%、平均で 84.5%となっています。平均介護度について昨年度と比較すると、通所、認知デイでほぼ 3%の増加となった。入退所はあるものの通所デイの多くの利用者は前年度から引き続き、継続利用されているリピーター利用であり、多くの利用者の介護度が維持されている。新規の利用者の介護度が低いこともあり、機能訓練や認知症予防、また、コロナ禍においても新しく取り入れた多種多様なレクリエーション、手先を使う趣味活動等を通して、心身ともに活性化できる取組みを行い、在宅生活を維持するためのデイサービスの役割を果たすことができた。

（6）各種サービス状況

	通所	総合	認知
入浴介助	1813＊421（40）＝763273	0	1597*421（40）=672337
個別機能訓練Ⅰロ（運動器機能向上）	3173*895（85）＝2839835	230＊2371（225）＝545330	5492＊284（27）＝1559728
個別機能訓練Ⅰイ	1784＊590（56）＝1052560		
個別機能訓練Ⅱ	692＊210（20）＝145320		561＊210（20）＝117810
ADL 維持等加算Ⅰ	692＊316（30）＝218672	0	0
栄養改善	0*1581(150) = 0	6*2108（200）＝12648	6*2108（200）＝12648
栄養アセスメント	692＊527（50）＝364684	231＊527（50）＝121737	750＊527（50）＝395250
口腔・栄養スクリーニング加算Ⅱ	117＊52（5）＝6084	41＊52（5）＝2132	125＊52（5）＝6500
口腔機能向上	92＊1686（160）＝155112	57＊1686（160）＝96102	341＊1686（160）＝574926
科学的介護推進加算	692＊421（40）＝291332	231＊421（40）＝97251	750＊421（40）＝315750
赤星式音楽療法	0	0	0

※上記はそれぞれ加算名にもとづき表記している。なお、括弧内は予防デイにおける呼称である。

入浴サービスは現在、月曜から土曜まで一日あたり 12～17 名（月～金）、10 名（土）を受け入れ可能な枠としている。新規利用依頼における入浴のニーズは高く、入浴サービス提供の可否は稼働率向上のための大きな鍵にもなる。できる限り多くの利用者に入浴していただきたいことから、週 2 回の入浴を基本に取り組んだ。入浴介助のマンパワーも限界にきている事から、振替入浴や空き待ち入浴を代替え案として提示し、多くの利用者に入浴していただけるようにしている。

機能訓練では、歩行練習も定着し積極的に歩行する利用者も増えてきた。リカンベントバイクを活用する利用者も増え、朝だけでなく、午後の時間もリカンベントバイクを活用する利用者が増加しました。通所デイではストレッチと負荷をかける体操により、機能向上につながる体操、認知デイでは比較的簡単な動作で頭を活用する体操と、目的に合った体操を実施している。常勤理学療法士により、全利用者の個別機能訓練加算に取り組んだ。

令和 3 年度もらくしゅう式脳機能訓練、歩行訓練により、認知症予防に対し積極的に対応している。

口腔機能向上サービスは、歯科衛生士の指導のもと、健口体操（唾液腺マッサージ、咀嚼筋トレーニング、嚥下・構音訓練ほか）を実施、個別の指導も行うなど充実した口腔機能向上サービスとなってきている。食後の口腔清掃を行う利用者も増加している。午前中の活動前、昼食後管理栄養士による栄養サポートを始め、個々の栄養状態にも着目している。在宅での栄養状態の関心を高めていきたい。継続した皆勤賞を導入の導入により、デイサービスに通う利用者のモチベーションアップにつながっている。機能訓練、口腔機能、栄養とそれぞれを単体でとらえる傾向にありましたが、より効果を高めるために、機能訓練、口腔機能、栄養にレクリエーション活動を加え、総合的にプロデュースすることで、今まで以上に心身ともに元気になっていただけるよう取り組む必要がある。

（7）日常生活動作の状況

①食事

食事形態	通所	総合	認知
普通食	35	19	45
一口大	9	0	6
含浸食	4	0	10
手作り流動食	0	0	0
その他	1	0	0

食事介助状況	通所	総合	認知
自立	43	19	55
一部介助	4	0	5
全介助	2	0	1

②入浴

入浴形態	通所	総合	認知
入浴利用実数	20	0	24
一般浴	2	0	1
中間浴	18	0	23
機械浴	0	0	0

入浴介助状況	通所	総合	認知
自立	1	0	1
一部介助	14	0	18
全介助	5	0	5

③　排泄

排泄介助状況	通所	総合	認知
自立	25	18	31
一部介助	23	1	30
全介助	1	0	0

（8）利用者活動

①　年間行事実施状況

月	行事名	対象	内容	回数	参加人数
7 月	センター夏祭り		お祭り紹介、お祭りレクリエーション	2	96 名
9 月	敬老の日お祝い会		お祝い膳		57 名
12 月	愛全園劇場		演劇		58 名
	デザートレク			4	188 名

3 年度はコロナ禍の影響により、年間行事については、ほとんどの開催が中止となったが、感染予防策を徹底し、センター夏祭りについては開催した。また敬老のお祝い会については、お祝い膳の提供のみとした。行事が中止となったことは残念であったが、このことがきっかけとなり、スタッフ全員で協力し、YouTube 等も新たに活用した様々な活動や機能訓練メニューを考え、定期的に実施することに繋がり、ご利用者の満足度を得ることが出来た。

②　クラブ活動実施状況

クラブ名	実施日	内容	年間参加延べ人数
いろいろ	第 1･3 土曜	季節の掲示物作成、ゲーム、クイズ、歌などいろいろ行う。	600 名
共同作業	第 2･4 土曜	ロールペーパーによるモザイクアートを、大勢で協力して作ります。	600 名

③　図書館の設置

新刊、雑誌、漫画等幅広いジャンルの図書を設置し、貸出ができる仕組みを作り、好評いただいている。また、返却をすることから、お休みが減る効果もあった。

（9）諸会議実施状況

① リーダー会議 （第 2 木曜日実施）

月	内容抜粋	参加対象職員
4	クレド、新加算（LIFE）について	常勤リーダー層
5	アクティブ福祉の発表、移行について	常勤リーダー層
6	笑いヨガの研修、防災備品について	常勤リーダー層
7	歯ブラシの返却、2 階のパーテーション、カーテンについて	常勤リーダー層
8	経営について	常勤リーダー層
9	支出の削減、アクティブ福祉の進捗について	常勤リーダー層
10	年末年始の営業、稼働率、職員会議の進行について	常勤リーダー層
11	帰りの送迎の手順、各委員会の開催、稼働率アップの取り組みについて	常勤リーダー層
12	運転時のマナー、送迎について	常勤リーダー層
1	次年度の事業計画、人事考課の予定について	常勤リーダー層
2	次年度のスローガン、クレドについて	常勤リーダー層
3	次年度の担当、車内加湿器、車内清掃のマニュアル、春のイベントについて	常勤リーダー層

② 職員会議

月	内容抜粋	参加職員数
4	ヒヤリハット・事故の検討/参加者の意見から次月のクレド決定/ ご利用者への朝と締めの挨拶開始・更衣室の掃除担当決め。	13名
5	ヒヤリハット・事故の検討/参加者の意見から次月のクレド決定/ トイレの扉を必ず閉める事を徹底・防災備品の確認・洗面台での手すり活用（キャスターの工夫）	14名
6	ヒヤリハット・事故の検討/参加者の意見から次月のクレド決定/ 連絡ノートの重要記載について、朝の挨拶前にスターがインカムで伝達開始。笑いヨガの研修。	12名
7	ヒヤリハット・事故の検討/参加者の意見から次月のクレド決定/ 郷土料理イベントについて・ご利用者の好きな事、食べ物、出身地の表を作成・物品の入れ間違い防止策	10名
8	ヒヤリハット・事故の検討/参加者の意見から次月のクレド決定/ ヒヤリハット記録ボードを1F と2F 両方に設置・送迎表の書式見直し・排泄タブレットの基準周知	9名
9	ヒヤリハット・事故の検討/参加者の意見から次月のクレド決定/ リハビリパンツ体験アンケート結果開示・会議の参加者減少について アクティブ福祉発表リハーサル	9名
10	ヒヤリハット・事故の検討/参加者の意見から次月のクレド決定/ 職員会議の在り方の見直し・口腔ケアの画像を使ったビフォーアフター	12名
11	ヒヤリハット・事故の検討/参加者の意見から次月のクレド決定/ キャブ車から、ご利用者が下りる時の死角、注意点。不穏なご利用者の対応。	13名
12	ヒヤリハット・事故の検討/参加者の意見から次月のクレド決定/ エレベーターのパーテーションの位置について・ご利用者がしたい事の聞き取り	14名
1	ヒヤリハット・事故の検討/参加者の意見から次月のクレド決定/ 次年度スローガンのアンケート・次年度の事業計画案・コロナ対策（職員の食事場所の工夫）	13名
2	ヒヤリハット・事故の検討/参加者の意見から次月のクレド決定/ 送迎車のラジオ禁止、加湿の検討・電気ポットの管理方法	13名
3	ヒヤリハット・事故の検討/参加者の意見から次月のクレド決定/ 次年度の役割分担確認・人力車イベントの説明	14名

③　運営推進会議

月	内容抜粋	参加職員数
10	デイの紹介と歩行訓練、脳活性化プログラムの大切さを紹介（書面で提出）	0 名
3	認知症通所介護の取り組みの紹介とアクティブ福祉の発表の紹介（書面で提出）	0 名

職員会議では、直近の会議日以降、概ね 1 ヶ月間の事故・ヒヤリハット報告の検証を行っている。以下に、令和 3 年度の報告件数の総括を掲載する。

	内容	詳細	件数	計
事故	転倒・転落	転倒	8	8
		転落	0	
	薬関連	誤薬	1	1
		配薬ミス	0	
	車輌事故		4	4
	その他	異食	0	4
		誤嚥・誤飲	0	
		暴行	0	
		自傷行為	0	
		介護・処置中の外傷	4	
トラブル	事務処理上のミス		0	14
	サービスの不備		12	
	不祥事		0	
	その他		2	
ヒヤリハット			154	154

より多くのヒヤリハットが出るよう意識を高めていくことが、令和元年度からの課題であったが、ヒヤリハットの提出件数が 104 件→令和 3 年度 154 件と大幅に上がっている。

事故についてはサービスの不備の割合が最も多く、忘れ物予防の取り組み、送迎表の書式、ケア・活動の人員配置、動線の環境の見直しを行っている。ヒヤリハットや事故は、夕礼時、職員会議でフィードバックし、記録は全員網等で掲示することで周知、注意喚起を行った。

（10）家族会

月日	4 月	5 月	7 月	9 月	10 月	12 月
参加人数	0 名	−名	0 名	0 名	0 名	0 名
内容	総会（中止）	フリーマーケット（中止）	懇親会（中止）	食事会（中止）	食事会（中止）	お楽しみ会（中止）

（11）職種別職員状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
施設長（管理者）		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
事務員		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
通所予防	生活相談員（常）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	生活相談員(非)	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0,4]	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0.4]
	介護職員（常）	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]	0 [0.0]	1 [1.0]	1 [1.0]	1 [1.0]	1 [1.0]
	介護職員(非)	10 [6.2]	10 [6.2]	10 [6.2]	10 [6.2]	10 [6.2]	10 [6.2]	10 [6.2]	10 [6.2]	10 [6.2]	10 [6.2]	10 [6.2]	10 [6.2]
認知	生活相談員（常）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	生活相談員(非)	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0.4]	1 [0.4]
	介護職員（常）	2 [2.0]	2 [2.0]	1 [1.0]	1 [1.0]	1 [1.0]	1 [1.0]	1 [1.0]	1 [1.0]	1 [1.0]	1 [1.0]	1 [1.0]	1 [1.0]
	介護職員(非)	9 [5.9]	9 [5.9]	9 [5.9]	9 [5.9]	9 [5.9]	9 [5.9]	9 [5.9]	9 [5.9]	9 [5.9]	9 [5.9]	9 [5.9]	9 [5.9]
看護職員 （機能訓練指導員兼務）		3 [1.8]	3 [1.8]	3 [1.8]	3 [1.8]	3 [1.8]	3 [1.8]	3 [1.8]	3 [1.8]	3 [1.8]	3 [1.8]	3 [1.8]	3 [1.8]
理学療法士 作業療法士		2 [1.2]	2 [1.2]	2 [1.2]	2 [1.2]	2 [1.2]	2 [1.2]	2 [1.2]	2 [1.2]	2 [1.2]	2 [1.2]	2 [1.2]	2 [1.2]
歯科衛生士		1 [0.3]	1 [0.3]	1 [0.3]	1 [0.3]	1 [0.3]	1 [0.3]	1 [0.3]	1 [0.3]	1 [0.3]	1 [0.3]	1 [0.3]	1 [0.3]
管理栄養士		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
調理員		4 [1]	4 [1]	4 [1]	4 [1]	4 [1]	4 [1]	4 [1]	4 [1]	4 [1]	3 [1]	3 [1]	3 [1]
運転手		4 [1.2]	3 [0.9]	3 [0.9]	3 [0.9]	4 [1.3]	4 [1.4]	4 [1.4]	4 [1.4]	4 [1.4]	4 [1.4]	4 [1.4]	4 [1.4]

※[　]は常勤換算

（12）研修

① 設内研修

開催日	担当	内容	参加職員
4 月	中嶋（センター）	利用者のプライバシー保護の取り組みについての研修	13 名
5 月	吉沢（センター）	非常災害時の対応についての研修	14 名
6 月	法人	主任以上専門研修	1 名
7 月	法人 國井（センター）	副主任専門研修 虐待防止・身体拘束の排除、倫理及び法令順守の為の取り組みについての研修	4 名 10 名
9 月	法人	衛生研修	17 名
10 月	法人 中嶋（センター） 中嶋（センター）	感染症研修 事故の発生予防再発防止についての研修（危険予知訓練） 事故の発生時緊急時の対応についての研修	17 名 12 名 12 名
11 月	加藤・中嶋（センター）	感染症蔓延の防止について研修	13 名
12 月	中嶋（センター）	運転コミュニケーション研修	14 名
1 月	法人	新入職職員研修	1 名
3 月	法人	安全運転研修	24 名

※感染症研修は、法人悉皆研修の一環として実施

新型コロナウィルス感染の懸念があったが、オンライン会議を取り入れ研修を再開することができた。直接集まって行う研修では、感染対策を実施し、参加人数も絞り開催することができた。その反面特に医療研修では医師による新型コロナウィルスに対する対応方法など学ぶことができ、日々の業務に役立っている。

外部研修

開催日	主催	内容	参加職員
11 月 19 日	ウェルスダイナミクス研修	テスト結果をふまえてのグループワーク	5 名
2 月 18 日	主任副主任タレントダイナミクス研修	タレントスペクトルの振り返りと目標のステップ	5 名
3 月 29 日	相談員タレントダイナミクス研修	タレントプロファイルテストの振り返り	1 名

（13）実習生等受け入れ

①実習生受け入れ

福祉（高齢者）介護論実習

	0 名

②介護等体験受け入れ

教員課程における介護体験

大学生受け入れ	0 名

③職場体験受け入れ

体験学習

中学生受け入れ	0 名

居宅介護支援センター愛全園　令和３年度　事業報告

≪人員配置≫

職員数（毎月１日現在）令和３年４月１日～令和４年１月31日

	令和３年４月～令和４年３月		
	常用（契約）	非常勤	常勤換算数
管理者（兼務）	１名	―	1
主任介護支援専門員 介護支援専門員	１名 ３名	０名 ０名	3.9

≪人員配置≫

職員数（毎月１日現在）令和４年２月１日～令和４年３月31日

	令和３年４月～令和４年３月		
	常用（契約）	非常勤	常勤換算数
管理者	１名	―	1
主任介護支援専門員 介護支援専門員	１名 ２名	０名 ０名	2.9

≪運営状況について≫

令和２年６月より不在としていた主任介護支援専門員についても、資格取得を行い、主任介護支援専門員１名、居宅介護支援専門員４名と配置する事ができ、令和３年６月分から特定事業所加算Ⅱを算定する運びとなり、以後大きな増収となった。しかし、令和４年１月一杯で１名退職となり、介護支援専門員の数が減る事によって、２月より特定事業所加算ⅡからⅢへと変更となっている。伴って、最大担当利用者数も135件から100件へと減少し、収入減となりました。　ケアプラン件数については、別紙令和２年度及び令和３年度事業実施状況一覧表の通り、昨年度に比べて前年度比では88.7%となり、全体でケアプランのべ件数は約175件程度減少している。人員配置については、3.9名から2.9名に減員となっている。今回の稼働率減少の要因は、新型コロナウイルス等の入院やサービス利用控え、職員の増減による利用者数調整において、新規受け入れのタイミングに遅れをとった事が要因であった。

来年度は、負担となる介護ソフトの入れ替えも終了しており、主任介護支援専門員の配置に加え、居宅事例検討会内での新しい取り組み等や職員教育を丁寧に行う事で、職員数の安定を図り、安定した運営ができるよう努めます。また、ICTを活用する事により、担当

者数を最大 39 件から 44 件に増員加する事も可能となるため、環境が整い次第取り組んでいく事としている。

実習生の受け入れについては、新型コロナウイルスの影響にて未実施となっています。今後は、新型コロナウイルスの感染拡大状況を見ながら、実習生についても計画的に受け入れていく。ケアマネジメント業務については、主にリモート等を活用し、内部研修やあきしま地域福祉ネットワークでの研修会への参加、センター方式のアセスメントを今年度も活用したことなどにより、制限された環境の中でも、利用者本位のマネジメントができた。

来年度も包括支援センターとも連携し、積極的にケースの受け入れを図っていく。

≪研修参加≫

研修に関しては、下記の研修参加一覧表の通りに参加し、資質の向上に努めた。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、リモート活用を主として行った。内部研修では、委員会活動などに参加し、積極的に内部の相互連携を図った。法人内のカンファレンスなどで、より細かな観察の視点で利用者のケアの組み立てをしてきた。外部研修では、自己研鑽や資質の向上を図り、日々の業務に活かしてきた。

ケアマネとして広く制度を理解するために、外部研修に参加し、事業所内で勉強会を開催し、情報共有することにより、利用者やご家族、サービス事業所への対応も混乱なくできた。コンプライアンスに順守した運営を行っていくために、今後も事業所内研修等を行っていく。

研修参加一覧表（令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日）

	内部研修	外部研修	
		あきしま地域福祉ネットワーク	その他
4 月	医療研修(家庭での食事の見直し)	（ケアマネ部会） 「難聴の理解と補聴器について」	
5 月		（全体会） 総会、基調講演（ドリアン助川先生によるこころが豊になる話）	昭島社会福祉協議会 おひとりさまの終末期の支援
6 月	前期相談員悉皆研修 医療研修(高齢者における摂食障害について)	（ケアマネ部会） 「震災発生、その時ケアマネジャーは・・」	
7 月	ウエルスダイナミク	（全体会）	

	ス診断セット研修	中止	
8 月	医療研修(高齢者の免疫について) IT 研修（動画視聴）	（ケアマネ部会） 高齢者に必要な栄養学とバランスの取れた食事を学ぶ	
9 月	衛生研修（動画視聴） 後期相談員悉皆研修	（全大会） 伊藤美緒先生による、認知症ケア研修	南部地域連絡会 中止
10 月	感染症研修（動画視聴）	（ケアマネ部会） 高齢者の居住支援　現状と課題	
11 月	後期相談員悉皆研修	（全体会） 中止	
12 月	医療研修(高齢者のアレルギーについて）	（ケアマネ部会） 「ヤングケアラーの現状と地域支援」	昭島市地域包括・家族介護者教室 「これって虐待なの？」～ついやってしまう不適切介護～
1 月		（全体会） 中止	
2 月	研修･研究成果発表会	（ケアマネ部会） BCP と BCM の両輪を目指して	
3 月	安全運転研修 タレントダイナミクス研修	（全体会） マギーズ東京（訪問看護）の立ち上げの経緯と現在	

※新型コロナウイルス感染拡大防止の緊急事態宣言や蔓延防止重点措置が数回発令されたが、リモート等も活用し上記の研修に参加し、研修報告等で事業所内での共通の学びとなった。

≪事業実施状況一覧表≫

介護件数対照表

	令和 2 年度介護件数			令和 3 年度介護件数		
月	実件数	最大件数	稼働率	実件数	最大件数	稼働率
4 月	152	170	89.4	116	135	85.9
5 月	151	170	88.8	115	135	85.1
6 月	131	135	97.0	119	135	88.1
7 月	131	135	97.0	122	135	90.3

8 月	127	135	94.0	116	135	85.9
9 月	128	135	94.8	117	135	86.6
10 月	127	135	94.0	115	135	85.1
11 月	124	135	91.8	118	135	87.4
12 月	119	135	88.1	122	135	90.3
1 月	117	135	86.6	120	135	88.9
2 月	122	135	90.3	98	100	98.0
3 月	118	135	87.4	94	100	94.0
合計	1,547	1,690	91.6	1,372	1,550	88.5

※最大件数に達した場合、運営基準違反が適用。

※今年度介護の件数は昨年度比 88.7%であった。

予防件数対照表

	令和 2 年度予防件数			令和 3 年度予防件数		
月	実件数	最大件数	稼働率	実件数	最大件数	稼働率
4 月	20	39	51.2	27	31	87.0
5 月	21	39	53.8	27	31	87.0
6 月	21	31	67.7	25	31	80.6
7 月	22	31	70.9	26	31	83.8
8 月	23	31	74.1	25	31	80.6
9 月	23	31	74.1	21	31	67.7
10 月	22	31	70.9	21	31	67.7
11 月	23	31	74.1	21	31	67.7
12 月	24	31	77.4	21	31	67.7
1 月	24	31	77.4	21	31	67.7
2 月	26	31	83.8	18	23	78.2
3 月	26	31	83.8	18	23	78.2
合計	275	388	70.8	271	356	76.1

※今年度予防の件数は昨年度比 102%であった。

相談件数対照表

	令和 2 年度相談		令和 3 年度相談	
月	相談件数	終了件数	相談件数	終了件数
4 月	8	7	4	3
5 月	3	5	2	4
6 月	1	11	5	1

7 月	0	27	2	0
8 月	1	5	0	7
9 月	6	5	3	1
10 月	1	4	1	1
11 月	2	6	1	2
12 月	2	6	0	0
1 月	3	6	1	4
2 月	4	3	0	22
3 月	0	6	1	4
合計	31	91	20	49

※相談件数は昨年度比 64.5%であった。これは、2 月の職員退職に伴い、運営基準違反を避けるために、担当ケースを他事業所に引き継がなければならない状況となった。また、同時にそれ以降新規ケースを受け入れることもできなかった。

相談内容の内訳としては、地域包括支援センター、担当利用者からの紹介、地域医療機関地域住民からの直接の相談、同法人養護老人ホームであった。

終了ケースの内訳としては、特養、老健等の施設入所、入院、死亡であった。

令和 3 年度は苦情・トラブル件数は 3 件であったが、事業所変更や事業所内でのケアマネ変更はなかった。原因としては、サービス調整の遅延、配食サービス中止の連絡忘れ、家族への説明不足があげられ、信頼関係を損ねる事となった。来年度は、自費サービスについてケアマネの責任の所在の明確化や利用者、家族からの意向をしっかり確認し、相談援助技術について学んでいきたい。

収入対照表

	令和 2 年度		令和 3 年度	
月	介護	予防	介護	予防
4 月	2,627,871	83,806	1,527,119	125,087
5 月	2,545,480	96,421	1,556,322	115,322
6 月	1,739,778	86,733	2,058,359	116,894
7 月	1,700,794	99,348	2,121,535	111,040
8 月	1,650,068	96,421	2,217,196	111,040
9 月	1,643,141	100,626	2,005,928	91,201
10 月	1,674,359	92,216	2,026,666	89,420
11 月	1,565,454	105,202	2,103,974	89,420
12 月	1,542,366	103,553	2,155,451	85,440
1 月	1,471,881	107,758	2,155,451	85,440
2 月	1,596,059	114,890	2,060,688	76,896

3 月	1,527,119	105,125	1,523,179	76,896
合計	21,284,370	1,192,099	23,511,868	1,174,096
総合計	22,476,469		24,685,964	

※Ｒ2.6 月～R3.5 月まで主任介護支援専門員不在で特定事業所加算算定なし。主任介護支援専門員取得により、R3.6 月から特定事業所加算Ⅱ算定開始し増収。R3.5 月 R3.4 月～R4.1 月まで介護支援専門員数（主任除く）が 3 名、R4.2 月より介護支援専門員が 2 名となり、特定事業所加算がⅡ→Ⅲへ変更となったことも影響し、収入は昨年度比 110%であった。

≪令和 3 度ケアマネジャー実習生受け入れ≫
主任介護支援専門員配置しているが、新型コロナウイルス緊急事態宣言や蔓延防止重点措置にて依頼なし。

ヘルパーほほえみ　R３年度　事業報告

・職員数（毎月１日現在）令和３年４月１日～令和４年３月31日

月 職種	令和３年４月～9月		令和３年10月～令和４年３月	
	常用（契約）	非常勤	常用（契約）	非常勤
所　長	１名		１名	
サービス提供責任者	２名		１名	１名
訪問介護員		９名		７名
事務員兼訪問介護員		２名		２名

退職者が続き、少数精鋭で協力し運営してきました。チラシを配ったり色々な対応を試みたがなかなか新しい職員を迎えることが出来なかった。
今後も法人の求人広告への協力も行いながら職員増加できるようういたします。

・新規受付及び終了時の動向（　）追加

		令和１年度	令和２年度	令和３年度
総合	新規	４件	５（1）件	６件
	終了	５件	１件	４件
介護	新規	21（7）件	17（16）件	14（5）件
	終了	20件	19件	18件

・訪問実績

		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	11月	１２月	１月	２月	３月	平均
実人員（前年度）	利用者	57 (59)	58 (62)	58 (62)	59 (64)	57 (60)	52 (61)	56 (60)	57 (58)	55 (58)	53 (56)	52 (57)	51 (56)	55.41 (59.41)
	ヘルパー	13 (13)	13 (13)	13 (13)	12 (13)	12 (13)	12 (13)	11 (13)	11 (12)	11 (12)	11 (12)	11 (13)	11 (13)	11.75 (12.75)
訪問回数		585	559	592	641	587	518	522	556	561	522	500	540	6683
前年度		620	602	649	634	571	581	565	529	559	516	478	576	6880

・訪問介護延べ活動時間数　　※下記表について時間をｈ、分をｍで表記しています。

	令和１年度		令和２年度		令和３年度	
	介護時間	総合事業時間	介護時間	総合事業時間	介護時間	総合事業時間
４月	380ｈ43m	53ｈ45m	385ｈ26m	36ｈ0m	331ｈ05m	59ｈ40m
５月	378ｈ49m	61ｈ00m	375ｈ49m	36ｈ15m	372ｈ05m	41ｈ30m
６月	373ｈ32m	48ｈ45m	408ｈ08m	45ｈ30m	389ｈ30m	41ｈ15m
７月	407ｈ30m	58ｈ30m	409ｈ57m	48ｈ30m	396ｈ00m	37ｈ30m
８月	400ｈ15m	50ｈ45m	371ｈ14m	45ｈ25m	373ｈ35m	36ｈ00m
９月	403ｈ09m	46ｈ28m	379ｈ19m	37ｈ45m	361ｈ20m	30ｈ00m
１０月	439ｈ43m	51ｈ55m	383ｈ29m	34ｈ15m	377ｈ35m	29ｈ15m
１１月	389ｈ33m	42ｈ15m	383ｈ29m	34ｈ15m	389ｈ05m	31ｈ30m
１２月	381ｈ01m	42ｈ30m	358ｈ11m	41ｈ45m	403ｈ20m	27ｈ00m
１月	369ｈ28m	34ｈ45m	377ｈ43m	35ｈ45m	381ｈ55m	24ｈ30m
２月	334ｈ37m	39ｈ00m	321ｈ33m	34ｈ30m	356ｈ40m	22ｈ30m
３月	359ｈ57m	42ｈ45m	378ｈ09m	39ｈ25m	399ｈ50m	21ｈ25m
計	4618h17m	572h23m	4531h58m	469h20m	4532ｈ0m	402ｈ05m

・介護度別利用人数（年平均）

	令和１年度	令和２年度	令和３年度
要支援 1	3.2 人	1.5 人	1.1 人
要支援 2	9.2 人	9.1 人	7.6 人
要介護 1	16.8 人	13.2 人	12.4 人
要介護 2	17.6 人	13.5 人	11.6 人
要介護 3	11.3 人	9.2 人	10.5 人
要介護 4	4.8 人	6.2 人	3.2 人
要介護 5	4.5 人	5 人	4 人

利用人数の減少により全体的に例年より少ない人数となっています。重度の利用者がなかなか在宅生活を継続するのが難しい状況が多く、平均介護度も要介護 2.5 と低い傾向がみられました。

・ＬＳＡ（ライフサポートアドバイザー）高齢者住宅　巡回サービス
火曜日と金曜日、決められた時間に訪問し安否確認をする。
緊急通報システムの管理は総合警備と連携し行う。

シルバーピア上川原	10：30～12：00	15 件
ことぶき住宅	13：00～14：30	12 件
シルバーピア松原	13：00～14：45	19 件
シルバーピア拝島２	13：00～15：00	24 件
シルバーピア拝島	15：00～17：00	24 件

警備との連携・緊急訪問（3 件転倒）や介護相談（9 件）など行った。各包括、居宅のケアマネージャーとも連携を図り、迅速な情報共有や対応を行うことが出来た。コロナ感染症対策として、インターホンのみの対応や、ソーシャルディスタンスを心掛け住人の不安が起きない様丁寧に説明行った。

・訪問介護員内部・外部研修

R3.4	報酬改定の概要の理解	丸山所長 本多サ責	１３名
R3.6	法人主任研修	法人	１名
R3.7	認知症実践者研修	外部	１名
R3.7	認知症対応研修（資料研修）	本多サ責	１２名
R3.8	認知症症状を予防するケア	外部	１名
R3.8	認知症症状を予防するケア（資料研修）	本多サ責	１０名
R3.9	衛生研修	法人	１１名
R3.9	コロナに負けないフレイル体操	外部	１名
R3.10	感染症研修	法人	１１名
R3.10	高齢者の免疫について	法人	１名
R3.11	感染症研修（資料・動画研修）	本多サ責	１０名
R3.12	ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研修	法人	１名
R3.12	ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研修	外部	１名
R3.12	コロナと漢方	外部	１名
R4.2	アレルギーとは	法人	１名
R4.2	スペクトル研修	法人	１名
R4.3	安全運転研修	法人	３名
R4.3	開かれたがん相談の場	外部	１名

今年度は、コロナ感染症により集まり研修することはせず同じ動画や資料を確認し情報共有や研修を行った。また、法人や外部研修において得た情報を周知し共有することに努めた。

令和３年度南部地域包括支援センター愛全園事業報告

（１）人員配置（令和３年４月１日～令和４年３月31日）

職　　種	常勤	非常勤
管理者	１名	
三職種（主任CM・社会福祉士・保健師） ※R4.2.1～R4.3.31は保健師が不在	３名 ２名	
プランナー ※R3.12.1～R4.3.31		２名 １名
事務員		１名

（２）南部地域包括支援センター活動報告

・サロン（包括三職種が訪問し、講義）　　・センター便り

2か所	4回

※新型コロナウィルス感染症に伴い、サロン活動が休止

・地域密着型運営推進会議

事業所名	回数	事業所名	回数
グループホームつつじの夢	0回	サービスセンター愛全園	2回
グループホームいーまーる	1回	デイサービスみかん	2回
晴れのち笑顔	2回		

※新型コロナウィルスの関係により全て書面会議にて実施

・地域連絡会　0回

実施日	参加人数	内容
9月21日 3月1日		地域課題の取り組み状況と第8期に向けた課題の整理
2月18日	6名	株式会社ヤクルトと地域課題ヒアリング
2月21日	6名	いなげや（移動スーパーとくし丸担当者）より聞き取り
2月25日	6名	住宅協公社昭島市担当より聞き取り
3月3日	4名	セブンイレブンと地域課題ヒアリング

※地域連絡会は企画するが、コロナの影響により中止となる

・地域ケア会議

実施日	参加人数	事例タイトル
6月2日		新型コロナウィルス感染症拡大防止のため延期
8月5日	18名	本人の望む在宅生活を長く継続するためには～病気の理解をし

		てもらうために～
11 月 4 日	9 名	本人の望む在宅生活を長く継続するためには～施設と在宅のボーダーラインについて～
2 月 2 日	8 名 10 名	①認知症が進行している方が、地域で安全に生活を続けていくためには ②介護負担を減らして在宅生活を送るためには～本人の意欲低下を改善する取り組みについて～

・介護予防教室（いきいき生活のためのプログラム）

田中町地区 2 回

※自治会施設が使用できないため、法人園庭で実施。

・家族介護者教室

12/4	これってひょっとして虐待！？～ついついやってしまう不適切な介護とは～
3/19	からだにやさしい‘お風呂’～入浴こそ最高のリラクゼーション～

※3/19 は講師がコロナにより開催中止

・認知症月間の取り組み（昭島市役所・昭島社協・5 包括・介護事業所の合同企画）

実施日	内容	参加人数
11/4	よみうり回想サロン～昭和 40 年代の新聞記事や映像で脳トレーニングをしよう～	
11/20	認知症の寸劇と見守り体操	39 名
11/23	映画上映会介護事業所の対談会	136 名
11/28	市民向け認知症サポーター養成講座	25 名
10/30～12/1	昭島で暮らし続けるみんなの笑顔展	
12/2 1/12，14	認知症サポーター養成講座（第一生命） 〃　　（イトーヨーカドー）	44 名 32 名
12/5	認知症講演会～認知症とともに明るい明日へ～	120 名

・あきしまネットの活動

部会名	回数	内容
幹事会	10 回	包括からの情報提供や全体会企画の支援
ケアマネ部会	6 回	ケアマネジャーの自己研鑽の研修会（開催・ファシリテーター等の支援）
主任ケアマネ分科会	6 回	主任ケアマネジャーの事例検討会や情報提供
ケアマネ世話人会	12 回	ケアマネ部会の企画の支援や包括の情報提供
医療部会	2 回	病院の地域連携室との情報交換
在宅医療・介護連携構築委員	6 回	昭島市を交えて、国から通知のある在宅医療・

会		介護連携推進事業（ア）～（ク）の支援

・その他の活動

活動	回数	内容
男性介護者教室	12 回	男性介護者の方向けに介護の知識などの情報提供や交流会を実施。
家族介護者の会	12 回	家族の方が企画した介護者の会に参加し、情報提供などの支援を実施。
認知症支援連絡協議会	12 回	認知症月間や認知症についての課題把握や活動を共同で企画する。
昭島ふれあいほっとサロン推進委員会	1 回	サロンの活動報告及び情報交換。
地域ケア会議幹事会	1 回	各包括で把握した個別地域ケア会議ででた地域課題をまとめ、新たな取り組みを検討・提案。
地域ケア会議運営推進会議	1 回	地域ケア会議幹事会で出た提案を議論し、市の活動として取り組みを意見。
見守りネットワーク懇談会	書面開催	高齢者の見守り事業を行っている会社が一堂に集まり、情報交換。
民生委員協議会・高齢者部会	1 回	担当地区の民生委員に自己紹介と情報交換。
いきいき健康フェスティバル	中止	敬老の日に行われる市のイベントに参加し､4 包括で総合相談ブースを担当。
虐待対応研修	1 回	市民向けに虐待についての講義を実施。
生活支援員養成講座講師	1 回	総合事業の生活援助を担う方が資格取得のために受ける研修の講義。
在宅医療を共に推進していく講演会	1 回	在宅医療・介護連携推進事業の実施項目の１つで、研修会に参加。
看護学生実習受け入れ	中止	看護学生へ地域支援の研修の実施。
ケアプラン点検	0 回	居宅介護支援事業所のケアプランを点検し、作成の一連の流れを確認しながらケアマネの気づきを得るようにしていく。
田中町住宅地域課題の取り組み	4 回	田中団地に住む高齢者の方がより住みやすくするために、新たな社会資源の創設やその仕組みづくりについての検討会。

（３）相談件数

	総合相談	代行申請	予防給付	総合事業	権利擁護	包括的継続的	計	相談者数	療養相談
平成 29 年度	4293	410	3641	232	963	1413	10952	3018	—
平成 30 年度	7129	253	2312	1122	760	663	12239	2491	—
令和 1 年度	4082	103	1768	904	384	378	7619	2740	—
令和 2 年度	2429	70	2247	646	300	112	5804	2429	119
令和 3 年度	3260	61	1654	304	624	46	5949	1971	114

※包括支援センターの地区割が変更となってから、初めて 1 年間の実績値となる。相談件数は、昨年より増加しているところから、相談窓口が浸透し通ある状況である。給付件数については､4 包括から 5 包括になり､1 包括当たりの件数が均されたことで件数が減っている。しかしながら、虐待件数は増えている。虐待については、単年度ごとで件数は異なる傾向が見受けられる。令和 3 年度の特徴として、相談件数の合計が昨年より多く、相談者数が少ないということは、同じ方からの相談が多くみられ、虐待の多い 1 年であった。

（４）プラン件数

月	介護予防		総合事業			合計
	直	委託	直	事業対象	委託	
４	36	53	14	0	31	134
５	37	53	15	0	29	134
６	37	56	15	0	29	137
７	37	58	14	0	29	138
８	39	55	16	0	31	141
９	39	54	16	0	30	139
１０	40	55	15	0	31	141
１１	38	56	15	0	33	142
１２	38	58	17	0	31	144
１	37	60	18	0	32	147
２	26	71	14	0	36	147
３	26	68	15	0	35	144
合計	430	697	184	0	377	1688

※プランの件数は以前の地区割と比較すると､減っているものの､昨年度の合計件数より 25 件増加し､年度当初からしても､年度末までに増加している｡2 月の直の件数が少なくなり、委託の件数が増えている部分は、職員の退職に伴い、外部に委託した結果である。昭島市の高齢者の推移から人口減少は数年先との見解であるため、今後は件数が増加することが見込まれる。

（５）研修報告

①外部研修

研修名	参加日	主催	参加者
令和３年度精保健福祉研修 大人の発達障害	７月12日	東京都立多摩精神保健センター	鈴木
令和３年度第４回 東京都キャラバンメイト研修	12月14日	東京都保健福祉財団	奥
令和３年度 安全運転管理者研修	１月26日	一般財団法人 東京都交通安全協会	和田
令和３年度 昭島市多職種研修	３月30日	昭島市役所	和田
令和３年度 東京都主任介護支援専門員 更新研修	２月７日～３月23日までの10日間	東京都介護支援専門員 研究協議会	和田

②内部研修

研修名	日　　付	対象者
相談員医療研修	四半期に１回	全員
第１回相談員悉皆研修	６月18日、11月25日	全員
第２回相談員悉皆研修	６月24日、９月17日	全員
IT研修	７月15日	和田
衛生研修	９月１日～30日	全員
感染症研修	10月１日～31日	全員
ウェルスダイナミクス研修	11月19日、３月29日	全員
リスクマネジメント研修	12月17日	和田
年度末成果発表会	２月25日	全員
安全運転研修	３月15日	運転者

③研修講師

研修名	研修区分	講師名
介護職員初任者研修	内部	和田
安全運転研修	内部	和田
生活支援員養成研修	外部	和田
認知症サポーター養成講座	外部	和田・鈴木・松下

※コロナ禍で、研修全般オンライン研修が増加した。内部研修では、研修動画を録画し、それを参加できなかったスタッフが後日視聴し、アンケート報告する仕組みとなった。外部研修でも、ほとんどがオンライン研修であった。

令和３年度西部地域包括支援センター愛全園事業報告

（１）人員配置（令和３年４月１日～令和４年３月31日）

職　　種	常勤	非常勤
管理者	１名	
三職種（主任CM・社会福祉士・保健師）	３名	
プランナー	２名	
事務員		１名

（２）西部地域包括支援センター活動報告

・サロン（包括三職種が訪問し、講義）　　・センター便り

講義：アイさんの広場、拝島町サロン、もりのうえサロン（３か所） 参加のみ：オレンジドア	４回

※新型コロナウィルス感染症に伴い、一部のサロンのみ参加

・地域密着型運営推進会議

事業所名	回数	事業所名	回数
スマイルケア昭和の森	３回	ふそうケアセンター昭島	１回
デイサービスりんご、みかん	２回	晴れのち元気	１回
和み苑デイサービス拝島	１回		

※新型コロナウィルスの関係により全て書面会議にて実施

・地域連絡会　０回

実施日	参加人数	内容
		当初、年２回　（市主催、包括主催）を予定していたが、コロナ感染拡大に伴い今年度は開催できず。

・地域連絡会代替えインタビュー　５回

実施日	参加人数	内容
2/15	５名	坂下自治会長より聞き取り
2/21	６名	いなげや（移動スーパーとくし丸担当者）より聞き取り
2/25	４名	中村薬局管理者より聞き取り
2/25	６名	住宅協公社昭島市担当より聞き取り
3/7	11名	認知症ｻﾛﾝ「オレンジドア」サロン運営者より聞き取り

・地域ケア会議　※12 月より 2 会場開催で 2 事例を実施

実施日	参加人数	事例タイトル
5 月 12 日	17 名	喀痰吸引や酸素の管理など医療依存度の高い妻の介護を続ける夫～ご本人らしさも保持しながらご夫婦で在宅生活を続けていくための支援とは～
9 月 29 日	16 名	進行性の難病を抱えながら在宅生活を希望する夫 ～妻の介護負担と今後の生活について考える～
12 月 1 日	11 名 12 名	外国語でしかコミュニケーションが取れない方の支援の在り方 ～外国出身者の地域生活を支えるには～ 一人暮らしの認知症高齢者の支援 ～身体機能を維持するためにできること～
3 月 2 日	11 名 9 名	体調不良を訴え引きこもりがちな高齢者 ～引きこもりがちな高齢者の生活を立て直すには～ 認知症高齢者への正しい介護の仕方について ～必要な介護や知識の習得に向けて～

・介護予防教室（いきいき生活のためのプログラム）

拝島町、緑町地区 0 回

※自治会より新型コロナウィルス感染症拡大防止の観点から中止要請あり。

・家族介護者教室　１回

11/4	高齢者虐待について
3/19	からだにやさしい“おふろ” ～入浴こそ最高のリラクゼーション～

※3/19 は講師がコロナのため中止

・認知症月間の取り組み（昭島市役所・昭島社協・5 包括・介護事業所の合同企画）

実施日	内容	参加人数
11/4	よみうり回想サロン～昭和 40 年代の新聞記事や映像で脳トレーニングをしよう～	
11/20	認知症の寸劇と見守り体操	39 名
11/23	映画上映会介護事業所の対談会	136 名
11/28	市民向け認知症サポーター養成講座	25 名
10/30～12/1	昭島で暮らし続けるみんなの笑顔展	
12/2 1/12，14	認知症サポーター養成講座（第一生命） 〃　　（イトーヨーカドー）	44 名 32 名

12/5	認知症講演会～認知症とともに明るい明日へ～	120 名

・あきしまネットの活動

部会名	回数	内容
幹事会	12 回	包括からの情報提供や全体会企画の支援
ケアマネ部会	6 回	ケアマネジャーの自己研鑽の研修会（開催・ファシリテーター等の支援）
主任ケアマネ分科会	6 回	主任ケアマネジャーの事例検討会や情報提供
ケアマネ世話人会	12 回	ケアマネ部会の企画の支援や包括の情報提供
医療部会	3 回	病院の地域連携室との情報交換
在宅医療・介護連携構築委員会	3 回	昭島市を交えて、国から通知のある在宅医療・介護連携推進事業（ア）～（ク）の支援

・その他の活動

活動	回数	内容
障碍者相談支援部会	11 回	障害者自立支援法の事業所の相談員と共に情報交換及び事例検討を実施。
男性介護者教室	12 回	男性介護者の方向けに介護の知識などの情報提供や交流会を実施。
家族介護者の会	12 回	家族の方が企画した介護者の会に参加し、情報提供などの支援を実施。
認知症支援連絡協議会	12 回	認知症月間や認知症についての課題把握や活動を共同で企画する。
昭島ふれあいほっとサロン推進委員会	2 回	サロンの活動報告及び情報交換。
サロン配布会	1 回	新型コロナウィルス感染症に伴い、サロン活動が休止となり、代替えとして、5 包括の活動拠点で非常食の配布や運動・栄養の講話を実施。
地域ケア会議幹事会	1 回	各包括で把握した個別地域ケア会議ででた地域課題をまとめ、新たな取り組みを検討・提案。
地域ケア会議運営推進会議	0 回	地域ケア会議幹事会で出た提案を議論し、市の活動として取り組みを意見。
見守りネットワーク懇談会	書面開催	高齢者の見守り事業を行っている会社が一堂に集まり、情報交換。
民生委員協議会・高齢者部会	1 回	担当地区の民生委員に自己紹介と情報交換。
いきいき健康フェスティバル	中止	敬老の日に行われる市のイベントに参加し、4 包括で総合相談ブースを担当。

虐待対応研修	１回	市民向けに虐待についての講義を実施。
在宅医療を共に推進していく講演会	１回	在宅医療・介護連携推進事業の実施項目の１つで、研修会に参加。
くらし・仕事サポートセンター支援調整会議	中止	くらし・仕事サポートセンターの運営状況の報告及び対応事例の紹介。
看護学生実習受け入れ	中止	看護学生へ地域支援の研修の実施。
ケアプラン点検	0 回	居宅介護支援事業所のケアプランを点検し、作成の一連の流れを確認しながらケアマネの気づきを得るようにしていく。
拝島団地の住民主体の取り組みについて（ゴミの問題）	7 回	拝島団地の住民間で起こっているゴミ出しの問題を市役所、社協、包括、自治会で意見交換し継続可能なゴミ出しのシステムの検討会。

（３）相談件数

	総合相談	代行申請	予防給付	総合事業	権利擁護	包括的継続的	計	相談者数	療養相談
令和２年度	1304	61	456	632	228	55	2736	1396	114
令和３年度	2392	61	648	389	336	64	3890	1924	136

※令和 2 年 6 月の開設時と比べ職員数も令和３年度は充足されたこともあり相談件数、相談者数も増加傾向である。療養相談については令和２年度と比べ微増ではあるが、今後も病院などから介護保険の申請以来や退院後の生活面の調整などの依頼は一定数相談があると思うので、引き続き医療機関と連携し相談者が適切な医療につながるよう支援を行っていく。相談件数が増えていることは、管轄の市民に包括支援センターが周知されてきていることが伺える。

（４）プラン件数

月	介護予防		総合事業			合計
	直	委託	直	初回のみ	委託	
4	35	88	30	4	51	208
5	35	86	29	0	50	200
6	36	90	28	2	46	202
7	37	88	31	1	45	202
8	36	84	29	1	49	199
9	42	86	30	4	47	209
１０	44	84	30	1	47	206
１１	44	84	31	2	50	211

１２	44	85	34	0	43	206
1	39	86	33	0	44	202
2	20	104	33	1	57	215
3	23	107	10	2	59	201
合計	435	1072	348	18	588	2461

※令和３年度については毎月のプラン件数自体は２００件前後でほぼ横ばいで推移している。包括直営のプラン件数については、令和４年１月末にプランナーが１名退職したことで担当ケースを外部に委託、直営件数は減少し委託件数は増加となる。

（５）研修報告

①外部研修

研修名	参加日	主催	参加者
東京都地域包括支援センター職員研修（現任研修）	10 月 18 日 10 月 19 日	東京都福祉保健財団	佐々木
令和３年度第１回東京都キャラバン・メイト養成研修プログラム	11 月 19 日	東京都福祉保健局高齢社会対策部在宅支援課	大関
令和３年度第２回東京都キャラバン・メイト養成研修プログラム	11 月 26 日	東京都福祉保健局高齢社会対策部在宅支援課	鎌田
令和３年度第 4 回東京都キャラバン・メイト養成研修プログラム	12 月 14 日	東京都福祉保健局高齢社会対策部在宅支援課	中野

②内部研修

研修名	日　　付	対象者
相談員医療研修	四半期に 1 回	全員
第 1 回相談員悉皆研修	6 月 18 日、11 月 25 日	全員
第 2 回相談員悉皆研修	6 月 24 日、9 月 17 日	全員
衛生研修	9 月 1 日～30 日	全員
感染症研修	10 月 1 日～31 日	全員
ウェルスダイナミクス研修	3 月 29 日	全員
年度末成果発表会	2 月 25 日	全員
安全運転研修	3 月 15 日	運転者

③研修講師

研修名	研修区分	講師名
介護職員初任者研修	内部	湯本
認知症サポーター養成講座	外部	佐々木・湯本

令和３年度

事　業　報　告　書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

栄養課

訪問給食　ふれあい食事サービス

【栄養課】

１　食事形態別の変化

愛全園と偕生園の食事形態は以下のとおりである。

愛全園の食形態は、多い順に凍結含浸食は 41%、普通食（一口大含む）24%、手作り流動食（ミキサー）16%、流動食 10%、経管栄養 9%、であった。

【愛全園における食事形態別喫食割合】

	R4 年 3 月	R3 年 3 月	R2 年 3 月	H31 年 3 月
普通食	24	21	26	30
含浸食	41	49	52	42
手作り 流動食	16	13	9	10
流動食	10	8	5	10
経管栄養	9	9	8	8
合計(%)	100	100	100	100

偕生園は、前年度同様、普通食・一口大で 9 割を超え、凍結含浸食は 1 割未満である。

【偕生園における食事形態別喫食割合】

	R4 年 3 月	R3 年 3 月	R2 年 3 月	H31 年 3 月
普通食	95.3	95	95	99
含浸食	4	3.5	5	1
手作り 流動食	0.7	1.5	0	0
合計（%）	100	100	100	100

２　食材料費比較

概ね予算内での食事提供を実施した。

令和3年度食材料費														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	予算単価
偕生園(1日)	674	595	614	634	663	657	588	560	713	614	718	755	649	700
愛全園(1日)	890	747	836	881	781	878	784	810	921	708	819	854	826	950
センター(1食)	371	348	351	373	409	402	356	371	373	346	422	458	382	380
ふれあい(1食)	309	282	243	249	258	257	238	274	260	255	269	283	265	300

令和2年度食材料費														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	予算単価
偕生園(1日)	664	635	636	620	721	661	611	602	717	639	672	754	661	686
愛全園(1日)	879	861	919	1024	929	867	892	848	930	776	840	912	890	940
センター(1食)	372	314	359	365	450	374	386	374	380	433	367	441	385	360
ふれあい(1食)	212	253	245	291	281	267	258	260	267	271	246	299	263	300

３　食事改善・試みについて

- 献立内容

　朝礼時、検食簿に記入された評価や意見を職員間で共有し、ラウンド情報の共有を行い、随時献立内容の見直しを行った。また、第三者評価で寄せられたご利用者の食事に対する意見について、提供方法・献立内容を検討し改善を図った。

　今年度も、献立を調理師・栄養士・管理栄養士・施設長で共有し、ご利用者の希望、検食内容等を踏まえた上で、新しいメニューを積極的に取り入れ、献立の見直しを実施した。

　食材は、新鮮な生野菜を使用し旬を意識している。契約農家より昭島産の野菜も取り入れ地産地消に取り組んだ。また、食品添加物、農薬に配慮した食材の選定を行っている。小麦粉は米粉へ移行した。

　郷土料理を献立に取り入れ提供した。食事前にポスターにて郷土料理の紹介、介護課と協力して提供する郷土料理の土地の民謡を流すなど、より楽しんでいただけるよう工夫した。継続することで回想法や利用者と職員のｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝの活性につながっている。

- スチームコンベクションオーブン調理の推進

これまで提供料理の仕上がりを均一化させるため、スチームコンベクションオーブン（以下スチコン）による調理の推進を図ってきた。本年度は、スチコン調理・クックチル調理を担当できる人材を増やし、技術の均一化・シフトの効率化を図るため、「スチコン調理・クックチル調理検定」の実施に取り組んだ。

　検定基準、評価項目を明確化することにより指導する側も指導を受ける側も効率よく取り組むことができた。教育スケジュールを組み、定期的に検定を実施することで 3 名合格し、担当シフトに入れるようになった。

- クックチル調理の導入による効率化
　これまで調理担当業務として、宅配担当、早番調理、遅番調理の 3 シフトで稼働していたが、クックチル化の第一段階として宅配弁当の調理を従来のクックサーブ調理からクックチル調理へ移行した(令和４年１月～)。毎日配置していた宅配担当調理シフトが、週二回の配置で稼働できるようになったため、人員の削減につながった。

- 衛生管理計画の作成
HACCP チームを中心に衛生管理作業マニュアルの作成・更新を行った。

- ATP ふき取り検査を実施し、結果と改善点について周知し意識の向上を図った。
（月 1 回、栄養課内 5 カ所実施）

４　行事食・食の演出　等

＜年間行事食＞
行事食提供時、愛全園・デイには行事カードを添え、偕生園ではポスター掲示を行った。

令和 3 年	
4 月	観桜会（甘酒・手作りお弁当）
5 月	端午の節句（太巻き寿司・稲荷寿司）
6 月	愛全園開園記念日（愛全園お赤飯、花麩のお澄まし、天婦羅、夏野菜の酢の物、煮しめ盛り、ﾒﾛﾝ）
7 月	七夕（三色そうめん） 土用の丑の日メニュー(うなぎ蒲焼)
8 月	夏祭りｲﾍﾞﾝﾄ(愛全園おやつｲﾍﾞﾝﾄ) 焼きそば、ﾁｮｺﾊﾞﾅﾅ、西瓜、ｱｲｽ等のﾊﾞｲｷﾝｸﾞ
9 月	長寿祭（お赤飯､酸辣湯、銀鱈の親子蒸し、海老と秋野菜のﾏﾖﾈｰｽﾞ炒め､ﾒﾛﾝ)、秋分の日(おはぎ)
12 月	クリスマスメニュー
令和 4 年	
1 月	正月(おせち)、七草粥風炊き込みご飯
2 月	節分（太巻き）
3 月	ひな祭り（桜寿司)、春分の日（おはぎ)、 偕生園開園記念日（寿司ﾊﾟｰﾃｨｰ・桜餅）

- 誕生祝い献立…毎月 15 日前後に実施しており、お刺身盛り合わせ(10 月～3 月)、銀だら照り焼、エビフライ、ケーキ等デザートの提供を行った。
- 愛全園食(看取り対応食)…栄養士を中心に、愛全園食(看取り食)対応、個別対応を行った。愛全園食は、ご本人のお好きなものやご家族の意向を取り入れ、多職種で協力して対応を実施した（お寿司・果物・お汁粉・おでん・ラーメン等)、漬物
- センター　おやつの会（ｸﾚｰﾌﾟ作り・ﾊﾟﾌｪ作り）

5 月、10 月、12 月、3 月　実施

５　利用者との関わり

＜栄養課だより＞

愛友誌、センターだよりに「栄養課だより」として記事を作成し、栄養課の取り組みや季節のトピックスについて発信した。

愛友誌：1 回／月

＜愛友会・茶話会・栄養教室＞

上記に参加し、栄養課からのお知らせや、食事・栄養情報について発信した。また、利用者からの意見や要望について聞き取りを行った。

愛友会(愛全園)：6 月、9 月、12 月、3 月　参加

茶話会(偕生園)：毎月参加

栄養講話(センター)：適時「食事と栄養について」のテーマで栄養士が開催

＜ミールラウンド・栄養相談等＞

昼食時に管理栄養士・栄養士・調理士によるラウンドを毎日実施した。ラウンドで得られた情報は、栄養課内、多職種間で共有しケアの質向上につなげ、対応した。利用者で感染症罹患者がいる場合は、その利用者のいるフロアのラウンドを中止した。

＜愛全園＞

全利用者に対しへ栄養マネジメントを実施した。多職種での取り組みとして愛全園 NST(Nutrition Support Team)、多職種会議(経口維持・移行加算算定要件)を実施し、ケアの質の向上に努めた。栄養スクリーニングツールとして MNA-SF(Mini Nutritional Assessment-Short Form)を導入した。

食形態の変更等については、医師によるビデオ内視鏡や多職種での食事状況の観察結果などの客観的評価を取り入れ、多職種で情報を共有した上で行った。

- 愛全園 NST：1 回/週　水曜 11 時～
  実施回数：49 回（R3 年 4/1～R4 年 3/31）
  延べ介入件数：119 件（前年度 131 件）

（件数内訳：経過観察 47 件、新入所 35 件、看取りｹｱｶﾝﾌｧ 9 件、ﾃﾞｽｶﾝﾌｧﾚﾝｽ 17 件、褥瘡 11 件）

- 多職種会議：2～3 回/月　火曜日 15：00～
  実施回数：35 回（R3 年 4/1～R4 年 3/31）

＜偕生園＞

栄養スクリーニングを実施し、低栄養リスクのある利用者への栄養ケアを実施した。ミールラウンドを通して利用者の嗜好や要望の聞き取り、食事摂取状況の把握を行った。また、利用者・職員からの食事・栄養に関する相談に対し個別に対応した。

＜サービスセンター愛全園＞

昼食時にラウンドし、個々の食事摂取量や好みを聞き取り個別対応に反映させた。スクリ

ーニングツールとして MNA を導入し、多職種での情報共有・栄養ケアの質の向上に努めた。
また栄養スクリーニング加算算定に取り組み、必要時栄養改善サービスを実施した。

６　加算取得状況

・経口維持加算(500 単位/月)
加算者人数

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間平均
87	85	87	84	83	84	87	87	88	85	89	85	86

年間取得単位：1116×500＝558000 単位

・経口移行加算(28 単位/日)
加算者人数(月末時点)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間平均
6	6	6	6	6	7	7	7	6	6	6	6	6.3

・療養食加算者(6 単位/食)
加算者平均人数

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間平均
36	36	34	34	34	34	34	35	34	31	32	32	33.8

・栄養改善加算（150 単位/回）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間平均
2	2	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	1

・栄養アセスメント加算　（50 単位/月）
通所 692 件・総合事業 231 件・認知 750 件

・栄養スクリーニング加算　(5 単位/回)…半年に 1 回取得
通所 117 件・総合事業 41 件・認知 125 件

７　会議等

栄養課職員会議 一回／月	施設長(丸)、管理栄養士、栄養士、調理師	問題点や課題の抽出、クレドの具体策、情報共有
栄養課リーダーミーティング　一回／月	施設長(丸)、調理副主任、管理栄養士(主任)	課題の共有と改善策、献立、調理方法、行事食、厨房機器選定、補修、新厨房に関すること等
栄養士ミーティング 一回／月	施設長(丸)、栄養士、管理栄養士、主任	各部署からの報告､課題の共有と改善策の決定、献立に関すること(利用者、職員ニーズの把握)、研修、情報交換(食の安全性・HACCP)

８　研修・研究関連

＜校外実習・研修の受け入れ＞

・十文字学園女子大学　臨地実習（給食管理）

令和３年８月30日（月）～令和３年９月３日（金）　２名

令和４年１月31日（月）～令和４年２月４日（金）　２名

＜外部研修・学会発表等＞

令和３年９月１日	第13回TOWNミーティング派遣講師	中野　もも
令和３年11月19日	東京都社会福祉協議会 「ミールラウンドでの食事観察から評価・観察のポイントをおさえて食事形態につなげよう」	中野　もも （課内にて情報共有）
令和４年１月13日	東京栄養食糧専門学校 派遣講師「特養での管理栄養士の役割について」	中野　もも

・研究協力

介護保険施設等における栄養ケア・マネジメントの実態に関する調査研究事業

（施設実態調査・業務時間調査）

＜課内研修＞

・感染症研修　食中毒発生状況と事例紹介　動画視聴と確認テストの実施（12月）

令和３年度　ふれあい食事サービス　事業実績報告書

(1)職種別職員状況

栄養士　　１名

配送員　　11 名

(2)令和３年度の取り組み

下記内容について重点的に取り組みを行った

①施設の食事サービスのノウハウをいかした高齢者への食事支援

②含浸食の提供・周知

③おかずのみの提供

④地元野菜や旬の食材、行事食の提供

⑤利用者の不安と疑問の解消に努めた栄養士による栄養相談の充実

⑥在宅支援の拡大が図れるよう関係機関へのＰＲの強化

⑦クックチル調理の導入による作業の平準化と効率化

⑧ふれあい通信の発行

⑨紹介動画作成（youtube）

⑩職員弁当の価格変更(400 円⇒200 円（差額法人負担）)と申し込み方法の電子化

⑪利用者アンケートの実施（令和３年５月）

(3)食数実績

前年度との比較において年間合計食数は、社協利用数 2241 食増加、一般利用数 5555 食の増加(昼 3677 食・夕 1878 食)であった。

職員弁当においては、価格変更後の食数の増加が大きく、年間合計 4125 食の増加となり前年度の約 2 倍の食数となった。

令和2年度食数実績(令和2年4月～令和3年3月)

種類(参考価格)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
社協（700円/食）	1,109	962	1,166	1,119	1,057	1,134	1,307	1,141	1,175	1,117	1,062	1,381	13,730	1,144
昼食一般（650円/食）	943	1,110	877	1,000	1,002	1,072	1,074	984	1,073	1,010	1,128	1,124	12,397	1,033
夕食一般（750円/食）	1,355	1,274	1,376	1,351	1,289	1,313	1,462	1,437	1,582	1,486	1,413	1,527	16,865	1,405
合計	3,407	3,346	3,419	3,470	3,348	3,519	3,843	3,562	3,830	3,613	3,603	4,032	42,992	3,583
職員弁当（400円/食）	255	317	342	348	318	336	300	278	298	309	331	423	3,855	321
おせち　（1000円/食）									79				79	

令和3年度食数実績(令和3年4月～令和4年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
社協（700円/食）	1,248	1,109	1,380	1,274	1,394	1,333	1,466	1,362	1,454	1,314	1,226	1,411	15,971	1,331
昼食一般（650円/食）	1,188	1,371	1,272	1,471	1,228	1,421	1,432	1,491	1,412	1,226	1,268	1,294	16,074	1,340
夕食一般（750円/食）	1,563	1,556	1,603	1,542	1,484	1,581	1,617	1,614	1,521	1,418	1,498	1,746	18,743	1,562
合計	3,999	4,036	4,255	4,287	4,106	4,335	4,515	4,467	4,387	3,958	3,992	4,451	50,788	4,232
職員弁当（400円/食）	359	280	647	749	710	765	720	829	826	706	660	729	7,980	665
おせち　（1000円/食）									63				63	

※おかずのみ(－50 円)の方の食数も含む(一般食)　※社協ご利用者負担金額：400 円

※職員弁当の価格を 400 円から 200 円へ変更(令和３年６月開始)

（４）新規件数

令和2年度（令和2年4月～令和3年3月）

新規件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
社協	6	8	9	5	11	17	13	5	8	6	10	16	114	10
一般	4	3	9	9	11	14	9	7	6	7	10	12	101	8

令和3年度（令和3年4月～令和4年3月）

新規件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
社協	8	5	4	3	4	5	4	5	3	2	1	4	48	4
一般	15	9	5	5	7	8	6	7	11	9	6	6	94	8

（５）年間食数比較

食数は３年比較においても連続して増加傾向となっている。

年間食数比較

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
社協（700円/食）	11,124	13,730	15,971
昼食一般（650円/食）	10,041	12,397	16,074
夕食一般（750円/食）	15,169	16,865	18,743
合計	36,334	42,992	50,788
職員弁当（400円/食） 令和3年6月より200円/食へ変更	3,456	3,855	7,980

令和３年度

事　業　報　告　書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

医務課・愛全診療所

＜　医務課　＞

（１）会議、研修等

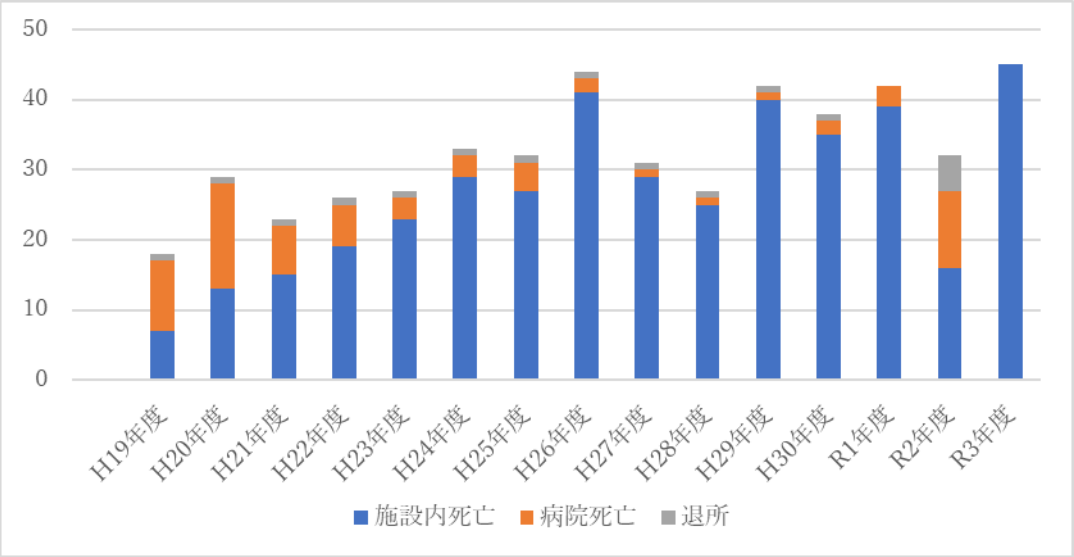
ケース会議　（2 回／月）
介護医務連絡会議　（1 回／月）
看取りカンファレンス　（適宜）
デスカンファレンス　（適宜）
医療（看取り含む）研修：介護職員向け（蓮村友による）
（隔週木曜日 14 時～15 時間）

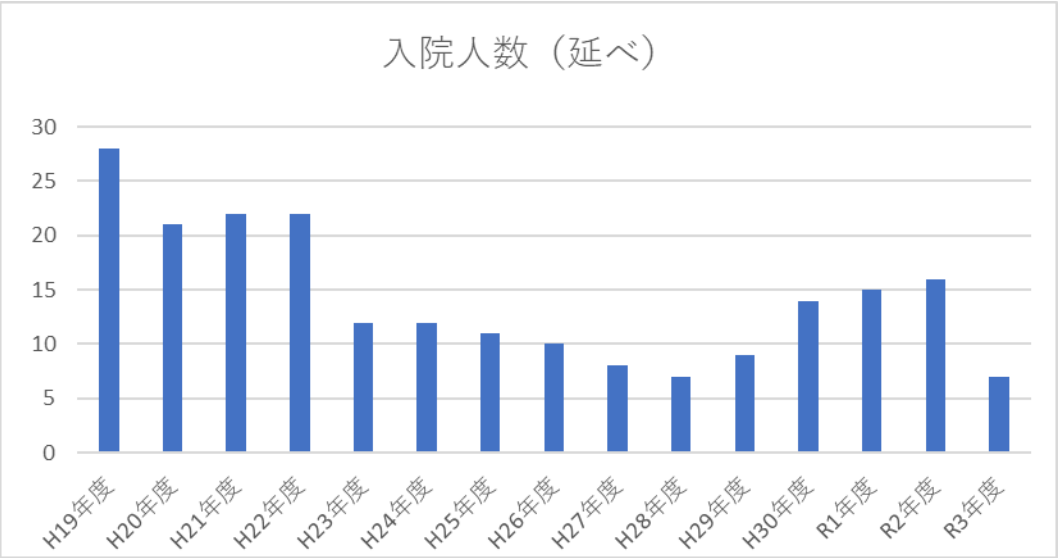
（２）　感染症対策

①　新型コロナウイルス：愛全園：集団 0 名・偕生園：集団 1 名
②　インフルエンザ感染症：愛全園：集団 0 名・偕生園：集団 0 名。
③　感染性胃腸炎：単発・集団とも発症なし
④　結核：新規発症なし
⑤　疥癬：発症なし

（３）　看取り医療等

愛全園　永眠 35（前年 16）名
入院先での死亡：0（前年 5）名
施設内死亡：35 名（老衰 13 名、肺炎 7 名、多臓器不全 3 名、急性心筋梗塞 6 名
パーキンソン病 1 名、糖尿病性腎症 2 名、大腸癌 1 名、脳梗塞 1 名、胆官癌 1 名
退所数名 0 名（前年 16 名）　施設内死亡率 100%（前年 68.0%）
入院件数 7 件（前年 16 件）：肺炎 2 件、胃瘻造設 1 件、血尿 1 件、胆石 1 名、ステント交換 2 件）
平均入院日数日間 3.91 日/人（前年度 23.1 日間）
入院延べ日数　92 日（前年度 370 日）
入院先：東京西徳洲会病院・目白第二病院 東京医科大学八王子医療センター
立川相互病院





偕生園　　永眠　15 名（前年 13 名）施設内死亡率 67%（前年 23%）
入院先での死亡:5 名（前年 10 名）　入院死亡率 33%（前年 77%）
施設内死亡：10 名（老衰 1 名、肺炎 3 名、尿毒症 3 名、ネフローゼ症候群 1 名
肝不全 1 名、急性心不全 1 名）

(4) 精神科医療

精神科非常勤医師による定期的（２日/月）な精神疾患患者の診察の実施。

全入所者につき定期的にカルテ診を施行し、認知症周辺症状への対応や器質的精神障害のルールアウトを実施。夜間不眠や不穏等については、漢方薬を中心に少量の抗精神病薬や睡眠導入剤を使用したコントロールとし、認知症病棟への入院を必要とした方は今年度０件（前年３件）。

(5)　褥瘡対策

ＮＳＴで対応とし、延べ３１件の介入を行った。ＯＷＤＴ（ラップ）改変療法によりいづれも軽快・治療済み。

(6)　経管栄養

新たに１名の胃瘻造設済みの方が新規入所となった。計 11 名の経管栄養の方をフォロー（バンパーボタン型４例・バルーンボタン型７例）＊胃瘻患者の受け入れについては、医療行為である接続処置（当施設は現状で全例看護師が施行）等管理上の問題から現状では 11 名程度が限界の状況。11 名中 5 名の方に嚥下内視鏡検査などによる嚥下評価の介入を行い経口移行加算を算定した。

(7)　大量皮下注療法（Hypodermoclysis）

今年度特養入所者 103 人（看取りを含む）に対して 500ｍｌ～1500ｍｌの大量皮下注療法を行った。また肺炎・尿路感染症などの感染症に対して外来におけるセフトリアソン等による抗菌剤点滴療法（OPAT:outpatient parenteral antimicrobial therapy）を施行した。

(8)　超細径内視鏡による施設内胃瘻交換

Ｈ25 年８月よりルチーン業務として開始

今年度計 11 名の胃瘻造設利用者（バンパーボタン型 4 例・バルーンボタン型 7 例）に対して超細径内視鏡を用いた胃瘻交換を１回/週２～３人のペースで延べ 100 回施行（前年度 85 回）。

(9)　ビデオ内視鏡

同意のとれた利用者　計 88 名に計 71 回実施。嚥下機能低下のある入所者約 71 名に対して経口維持加算Ⅰ・II を算定した。

(10)　**歯科医療**

歯科医師3名・歯科衛生士6名による訪問歯科診療、衛生指導の施行。

現在、109名の方に歯科治療、口腔ケアを施行。又歯科医・歯科衛生士による「口腔ケアに係る技術的助言及び指導」・「入所者の口腔ケア・マネジメントに係る計画」を策定し口腔機能維持管理体制加算を算定した。

(11)　**ワクチン接種**

今年度もインフルエンザ・肺炎球菌ワクチンの接種率：１00%達成した。

【愛全診療所】

会議、研修等

診療所カンファレンス（1 回／月）
診療所研修会（3～4 回／月・毎火曜日 12 時半～13 時）
NST（Nutrition Support Team） 回診
（愛全園:1 回/週・水曜１１時～）
医務課診療所会議 （一回／月 施設長、看護師、機能訓練指導員、クラーク）
クラークミーテング（一回／二ヵ月 事務局長、クラーク）

医療・事務研修会

令和4年2月15日（火）	愛全診療所 院内感染対策について	村田 裕美 石渡よし子
令和4年3月29日（火）	全国保険医団体連合会 2022年診療報酬改定	石渡 よし子

R3 年度医務課勉強会 実施状況

実施日	テーマ	参加人数
4 月 6 日	骨粗鬆症:ﾘｸﾗｽﾄ	18 名
4 月 13 日	気管支喘息:ﾌﾙﾃｨﾌｫｰﾑ	18 名
4 月 20 日	片頭痛:ｴﾑｶﾞﾙﾃｨ	18 名
4 月 27 日	中性脂肪:ﾊﾟﾙﾓﾃﾞｨｱ	20 名
5 月 11 日	高尿酸血症:ｳﾗﾘｯﾄ	20 名
5 月 18 日	骨粗鬆症:ｲﾍﾞﾆﾃｨ	20 名
5 月 25 日	高尿酸血症:ﾕﾘｽ	19 名
6 月 1 日	喘息:ﾃﾙﾘｼﾞｰ吸入	16 名
6 月 8 日	帯状疱疹ﾜｸﾁﾝ:ｼﾝｸﾞﾘｯｸｽ	21 名
6 月 29 日	腎性貧血:ﾀﾞﾙﾍﾞﾎﾟｴﾁﾝ	20 名
7 月 6 日	骨粗鬆症:ﾎﾞﾝﾋﾞﾊﾞ	19 名
7 月 13 日	対話支援ｼｽﾃﾑ:ｺﾐｭｰﾝ	17 名

7 月 20 日	ｱﾙﾂﾊｲﾏｰ型認知症r:ﾘﾊﾞｽﾁｸﾞﾐﾝ	17 名
7 月 27 日	便秘症	20 名
8 月 17 日	不眠症:ﾃﾞｴﾋﾞｺ	20 名
8 月 24 日	漢方について	19 名
8 月 31 日	心不全:ｴﾝﾚｽﾄ	17 名
9 月 7 日	ｲﾉﾗｽ・os-1	19 名
9 月 14 日	皮膚疾患:ﾋﾞﾗﾉｱ	19 名
9 月 21 日	肺炎球菌ﾜｸﾁﾝ:ﾌﾟﾚﾍﾞﾅｰ 13	19 名
9 月 28 日	癌性疼痛:ｼﾞｸﾄﾙﾃｰﾌﾟ	18 名
10 月 5 日	褥瘡の栄養管理:ｴﾝｼｭｱ	19 名
10 月 12 日	骨粗鬆症:ﾃﾘﾎﾞﾝ	18 名
10 月 19 日	2 型糖尿病:ﾂｲﾐｰｸﾞ	18 名
10 月 26 日	気管支喘息:ﾌﾙﾃｨﾌｫｰﾑ	18 名
11 月 2 日	重低血糖:ﾊﾞｸｽﾐｰ点鼻	21 名
11 月 9 日	腎性貧血:ﾊﾞﾌｾｵ	20 名
11 月 30 日	COPD・慢性腎臓病:ﾋﾞﾚｰｽﾞﾄﾘ吸入	20 名
12 月 7 日	腎性貧血:ｴﾍﾞﾚﾝｿﾞ	18 名
12 月 14 日	糖尿病:ﾒﾄｱﾅ	18 名
1 月 11 日	帯状疱疹ﾜｸﾁﾝ:ｼﾝｸﾞﾘｯｸｽ	20 名
1 月 18 日	慢性便秘症:ｱﾐﾃｨｰｻﾞ	17 名
1 月 25 日	高尿酸血症:ﾄﾋﾟﾛﾘｯｸ:・ﾕﾘｽ	21 名
2 月 1 日	経腸栄養:ｲﾉﾗｽ	17 名
2 月 15 日	ｱﾚﾙｷﾞｰ性鼻炎:ﾃﾞｻﾚｯｸｽ	21 名
2 月 22 日	てんかん:ﾚﾍﾞﾁﾗｾﾀﾑ	20 名
3 月 1 日	便秘症:ﾓﾋﾞｺｰﾙ・ｸﾞｰﾌｲｽ	18 名
3 月 8 日	花粉症:ﾙﾊﾟﾌｨﾝ	20 名
3 月 15 日	ｱﾚﾙｷﾞｰ性鼻炎・花粉症:ﾋﾞﾗﾉｱ	18 名
3 月 22 日	骨粗鬆症:ﾘｸﾗｽﾄ	19 名
3 月 29 日	慢性便秘症:ｱﾐﾃｨｰｻﾞ	19 名

R3 年度勉強会　実施回数　41 回

愛全園 NST 実施状況

・実施回数 60 回（R3 年 4/1～R4 年 3/31）

１　保険診療所としての地域医療への貢献（外来診療）

「漢方専門外来」

「一般内科外来」

外来受診人数・・・・・2210 人／年（R3 年 4/1～R4 年 3/31）

２　昭島市医師会員としての地域貢献

1）拝島第一小学校校医　蓮村友樹久（R3 年 4/1～R4 年 3/31）

学級・学年・学校閉鎖等の判断・指示、養護教諭との連携

未就学児検診　１回/年

内科検診　３回/年

５年生宿泊教室前検診　１回/年

６年生移動教室前検診　１回/年

2）東京都拝島高等学校　蓮村友樹久　（R3 年 4/1～R4 年 3/31）

学級・学年・学校閉鎖等の判断・指示、養護教諭との連携

内科検診　３回/年

3）３歳児検診　蓮村友樹久　１回/月　第２水曜日

4）北多摩地域認定産業医 蓮村　友樹久　１回/月

5）女性相談　蓮村幸兌　１回/月

6）多職種連携ＩＣＴ事業

３　居宅療養管理指導事業

介護保険サービスで医師の指示書の元に実施される管理栄養士が行なう

「訪問栄養食事指導」

実績（延べ人数）

１件＠５２４０×３０１

- 居宅療養管理指導　２２８　件
- 介護予防居宅療養管理指導　７３　件